

羽島市人権に関する市民意識調査 調査結果報告書

**羽 島 市
令和4年3月**

目次

I 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査設計	1
3 調査内容	1
4 回収結果	2
5 調査結果の留意点	2
II 回答者の属性	3
1 性別構成比	3
2 年齢別構成比	3
III 調査結果	4
1 人権全般について	4
(1) 各人権問題に対する関心度	4
(2) 人権問題の身近さ	25
(3) 人権意識の変化	26
(4) 人権侵害の経験	27
(5) 人権侵害の内容	28
(6) 人権侵害時の相談の有無	31
(7) 人権侵害時の相談相手	32
(8) 人権侵害時に対応しなかった理由	35
2 女性の人権について	38
(1) 女性の人権に対する問題意識	38
3 子どもの人権について	41
(1) 子どもの人権に対する問題意識	41
(2) 子どもの人権を守るために必要なこと	44
(3) 児童虐待発見時の対応	47
4 高齢者の人権について	49
(1) 高齢者の人権に対する問題意識	49
5 障がいのある人の人権について	52

(1) 障がいのある人の人権に対する問題意識	52
6 同和問題（部落差別）について	55
(1) 同和問題（部落差別）に対する問題意識	55
(2) 同和問題（部落差別）が存在する理由	58
(3) 同和問題（部落差別）に対する考え方	61
7 アイヌの人々の人権について	64
(1) アイヌの人々の人権に対する問題意識	64
8 外国人の人権について	67
(1) 外国人の人権に対する問題意識	67
9 働く人の人権について	70
(1) 働く人の人権に対する問題意識	70
10 エイズ患者・HIV 感染者・ハンセン病患者等の人権について	73
(1) エイズ患者・HIV 感染者・ハンセン病患者等の人権に対する問題意識	73
11 新型コロナウイルス感染症に関する人権について	76
(1) 新型コロナウイルス感染症に関する人権に対する問題意識	76
12 インターネットによる人権について	79
(1) インターネットによる人権に対する問題意識	79
13 刑を終えて出所した人の人権について	82
(1) 刑を終えて出所した人の人権に対する問題意識	82
14 犯罪被害者とその家族の人権について	85
(1) 犯罪被害者とその家族の人権に対する問題意識	85
15 ホームレスの人権について	88
(1) ホームレスの人権に対する問題意識	88
16 多様な性に対する人権について	91
(1) 多様な性に対する人権に対する問題意識	91
(2) 多様な性に対する考え方	94
17 人権教育・人権啓発について	98
(1) 人権問題に対する知識や情報の取得媒体	98
(2) 人権啓発活動等の認知状況	101
(3) 人権尊重の考え方について強く影響を受けたもの	104

(4) 人権問題に対する理解・意識の醸成に必要なこと	107
(5) 人権啓発活動を効果的に行うための取り組み	110
(6) 人権を尊重しあうために必要なこと	113
1 8 自由意見	116
(1) 人権全般	116
(2) 各人権問題	117
(3) 人権意識	119
(4) 人権教育・人権啓発等	119
(5) 本調査について	120
(6) その他	121
IV 参考資料	122
1 調査票	122

I 調査概要

1 調査目的

人権に関する市民の意識や現状を把握し、次期人権施策推進指針の策定に向けた基礎資料とともに、今後の人権施策の推進の参考とするため実施するものです。

2 調査設計

- | | |
|----------|-------------------|
| (1) 調査地域 | 羽島市 |
| (2) 調査対象 | 市内在住の 18 歳以上の男女 |
| (3) 標本数 | 1,200 人 |
| (4) 抽出方法 | 住民基本台帳から年齢別無作為抽出 |
| (5) 調査方法 | 配布：郵送 回収：郵送又は Web |
| (6) 調査時期 | 令和 3 年 8 月 |

3 調査内容

- (1) 人権全般について
- (2) 女性の人権について
- (3) 子どもの人権について
- (4) 高齢者の人権について
- (5) 障がいのある人の人権について
- (6) 同和問題（部落差別）について
- (7) アイヌの人々の人権について
- (8) 外国人の人権について
- (9) 働く人の人権について
- (10) エイズ患者・HIV 感染者・ハンセン病患者等の人権について
- (11) 新型コロナウイルス感染症に関する人権について
- (12) インターネットによる人権侵害について
- (13) 刑を終えて出所した人の人権について
- (14) 犯罪被害者とその家族の人権について
- (15) ホームレスの人権について
- (16) 多様な性に関する人権について
- (17) 人権教育・人権啓発について
- (18) あなた自身について
- (19) その他自由記述

4 回収結果

- | | |
|-----------|---------|
| (1) 発送数 | 1,200 件 |
| (2) 回収数 | 572 件 |
| (3) 有効回答率 | 47.7% |

5 調査結果の留意点

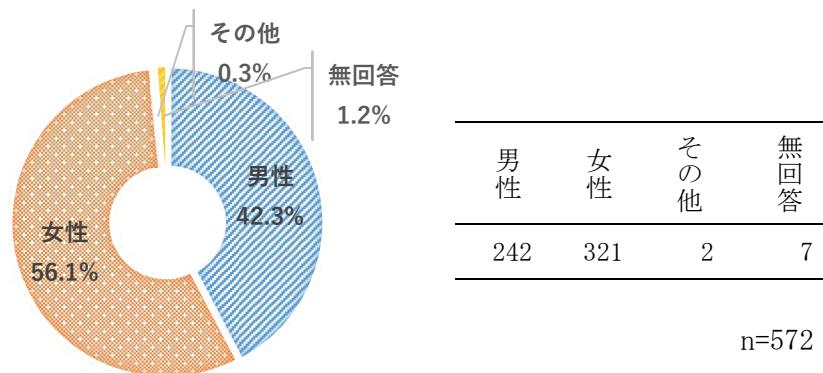
- (1) 回答は、設問に対する集計対象総数 (n) を基数とした百分率 (%) で示しています。
- (2) 百分率は、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の設問の集計は、回答者全体に対するその項目を選択した人の割合としています。そのため、各項目の合計が 100.0%を超える場合があります。
- (4) クロス集計では、表側項目（性別や年齢別）のうち無回答を省略しています。
- (5) 回答選択肢を簡略化して表記している場合があります。
- (6) 集計対象総数が少ないものは、記載を割愛している場合があります。

II 回答者の属性

1 性別構成比

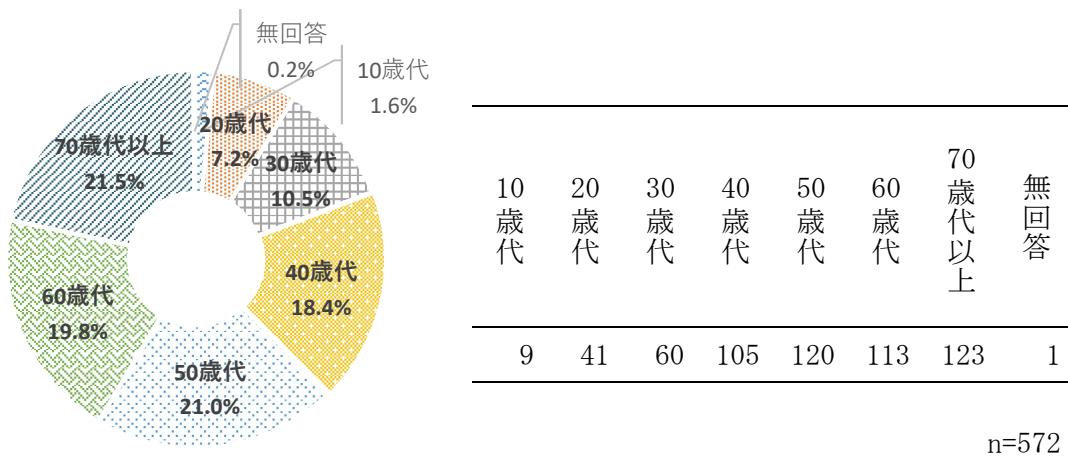
問 32 あなたの年齢の番号に○をつけてください。
(令和 3 年 8 月 1 日現在の年齢でお答えください。)

回答者の性別構成比は、「男性」が 42.3%、「女性」が 56.1% となっています。



2 年齢別構成比

回答者の年齢別構成比は、「70 歳代以上」が 21.5% と最も多く、次いで「50 歳代」が 21.0%、「60 歳代」が 19.8% となっています。



III 調査結果

1 人権全般について

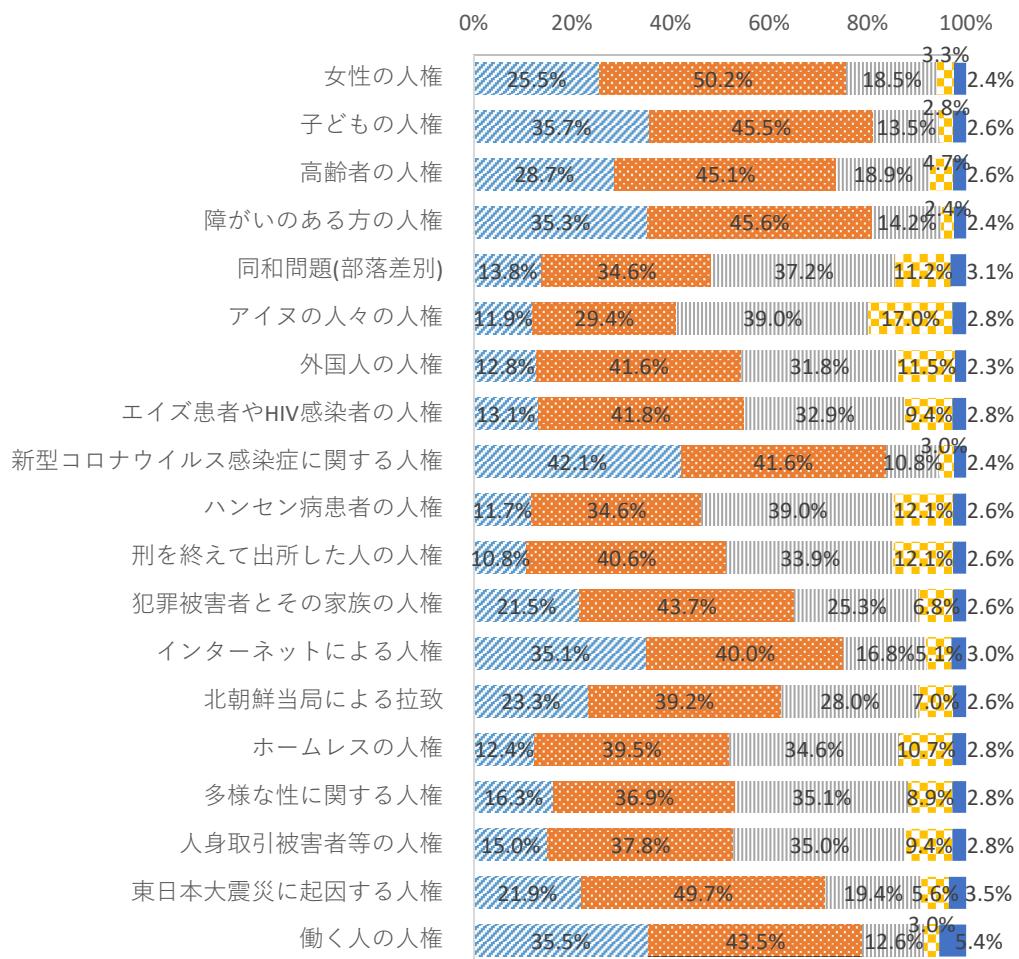
(1) 各人権問題に対する関心度

問1 あなたは、次の人権問題にどの程度関心を持っていますか。

《各項目 1 2 3 4 のうち一つに○》

「関心がある」人権問題として、「新型コロナウイルス感染症に関する人権」が 42.1%と最も高く、次いで「子どもの人権」が 35.7%、「働く人の人権」が 35.5%となっており、他に、「障がいのある方の人権」や「インターネットによる人権」が高くなっています。

一方、「刑を終えて出所した人の人権」は 10.8%、「ハンセン病患者の人権」は 11.7%、「アイヌの人々の人権」や「ホームレスの人権」などは低くなっています。



■ 関心がある ■ 少し関心がある ■ あまり関心がない ■ 関心がない ■ 無回答

① 女性の人権に対する関心度

全 体

「多少関心がある」の割合が 50.2%で最も高く、次いで「関心がある」の割合が 25.5%となっています。

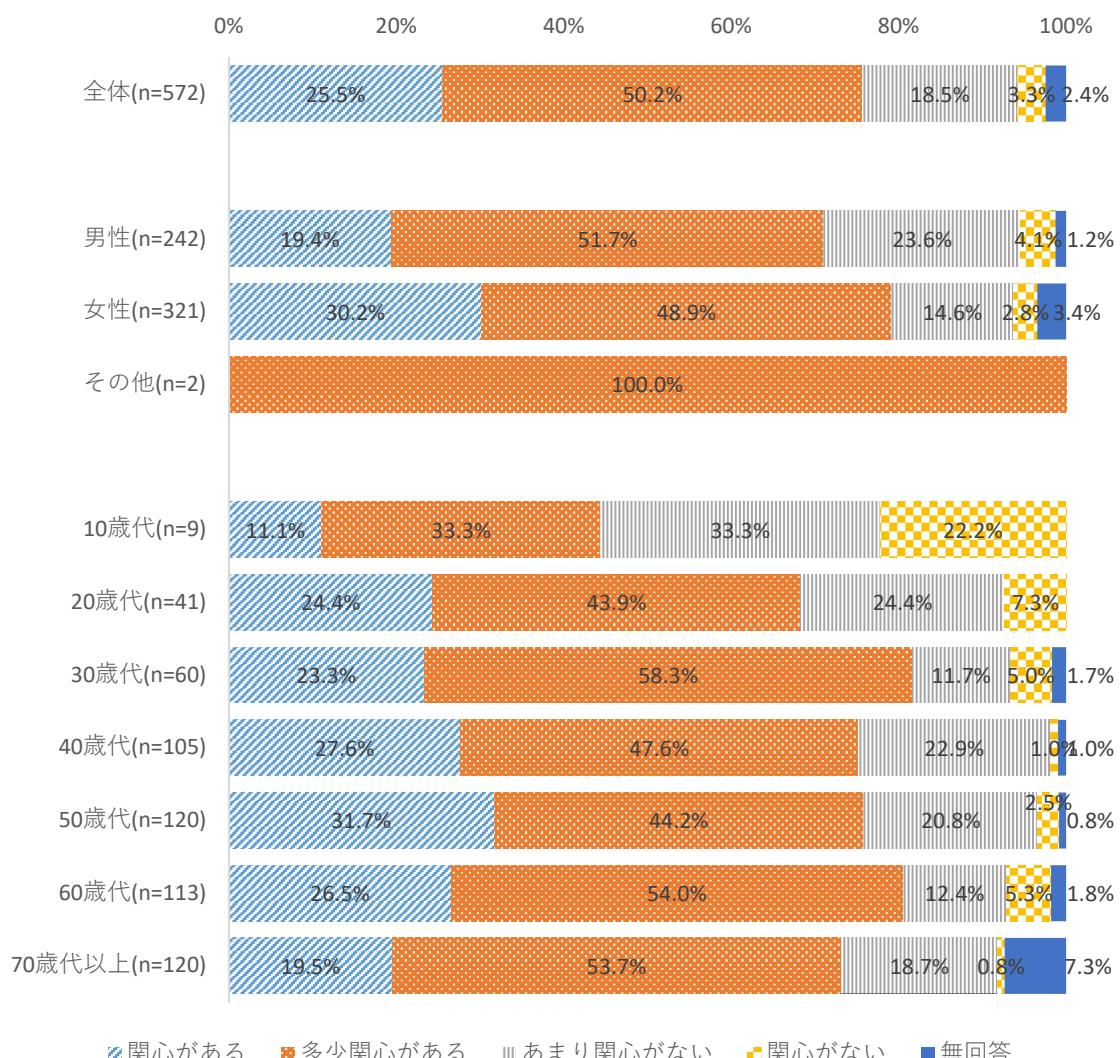
「関心がある」と「多少関心がある」の割合の合計は、7 割を超えています。

性 別

「関心がある」割合は男性(19.4%)に比べ、女性(30.2%)が 10.8 ポイント高くなっています。

年代別

「関心がある」割合は 50 歳代の 31.7%が最も高く、次いで 40 歳代が 27.6%となっています。10 歳代の 11.1%が最も低くなっています。70 歳代は全体と比較し低い割合となっています。



② 子どもの人権に対する関心度

全 体

「多少関心がある」の割合が 45.5%で最も高く、次いで「関心がある」の割合が 35.7%となっています。

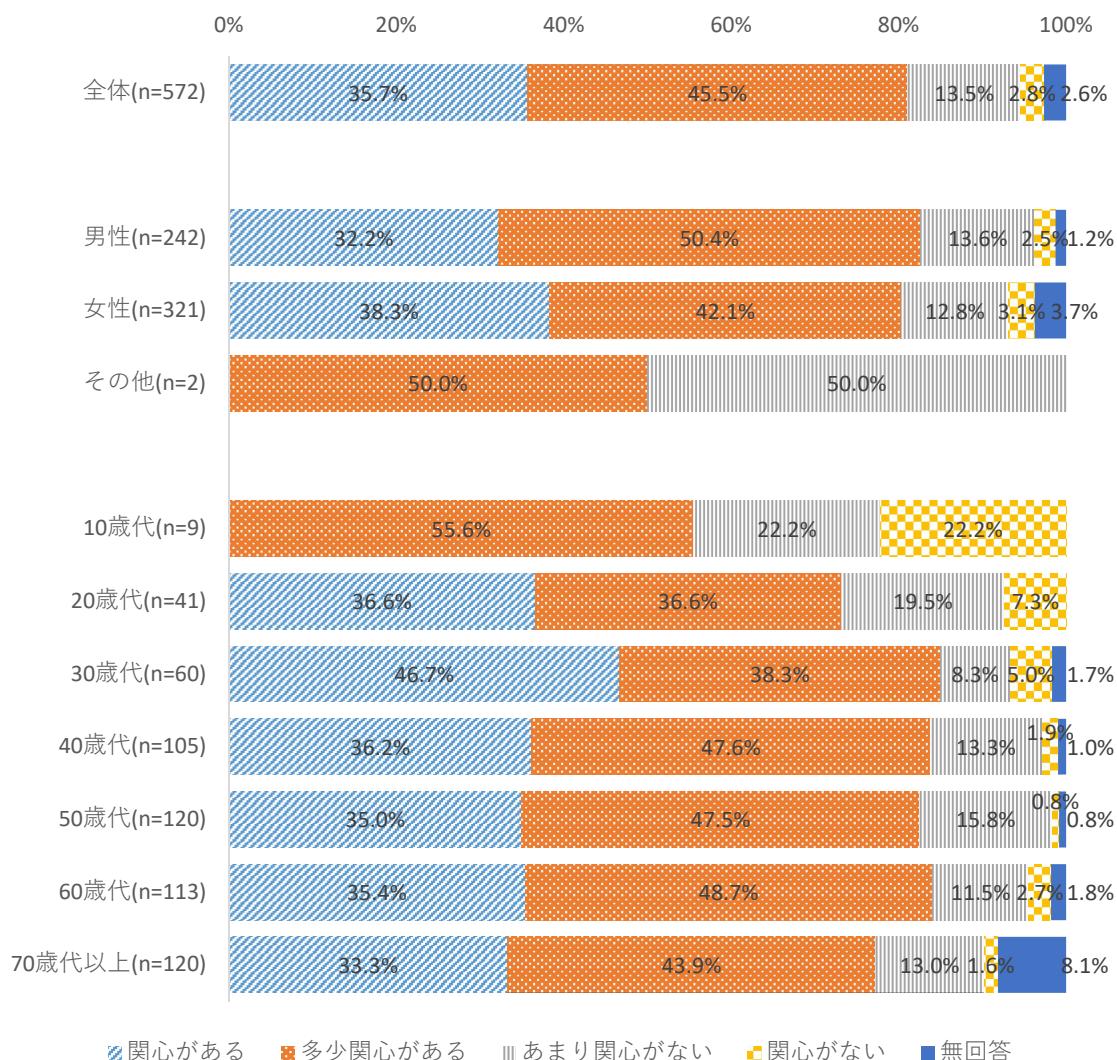
「関心がある」と「多少関心がある」の割合の合計は、8 割を超えています。

性 別

「関心がある」割合は男性、女性ともに 3 割台で、男性(32.2%)に比べ女性(38.3%)が 6.1 ポイント高くなっています。

年代別

「関心がある」割合は 30 歳代の 46.7%が最も高く、10 歳代を除く他の年代では 3 割台となっています。



③ 高齢者の人権に対する関心度

全 体

「多少関心がある」の割合が 45.1%で最も高く、次いで「関心がある」の割合が 28.7%となっています。

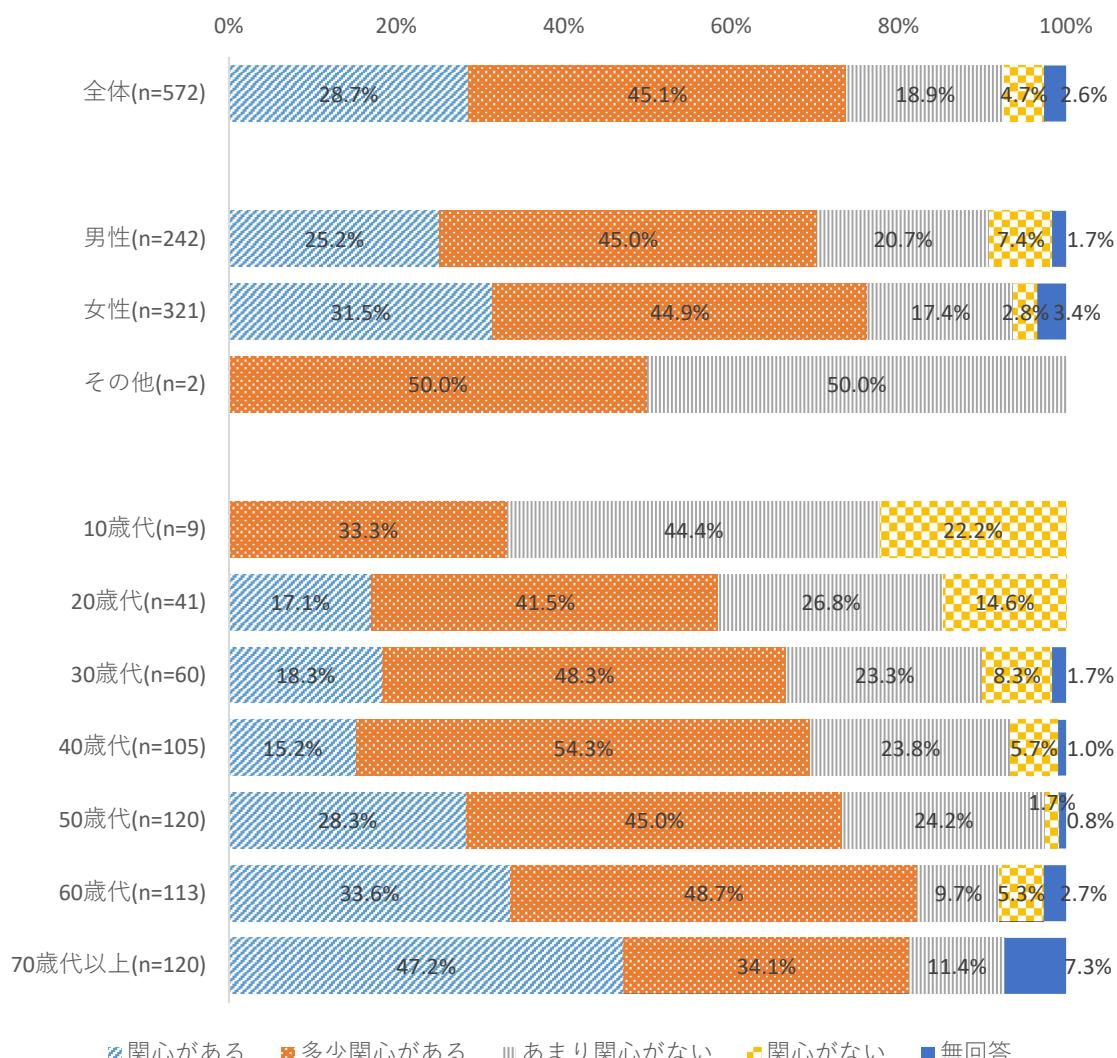
「関心がある」と「多少関心がある」の割合の合計は、7 割を超えています。

性 別

「関心がある」割合は男性(25.2%)と比べ、女性(31.5%)が 6.3 ポイント高くなっています。

年代別

「関心がある」割合は70歳代以上の47.2%が最も高く、次いで60歳代の33.6%、50歳代の28.3%となっています。10歳代から40歳代は2割未満となっています。



■ 関心がある ■ 多少関心がある ■ あまり関心がない ■ 関心がない ■ 無回答

④ 障がいのある人の人権に対する関心度

全 体

「多少関心がある」の割合が 45.6%で最も高く、次いで「関心がある」の割合が 35.3%となっています。

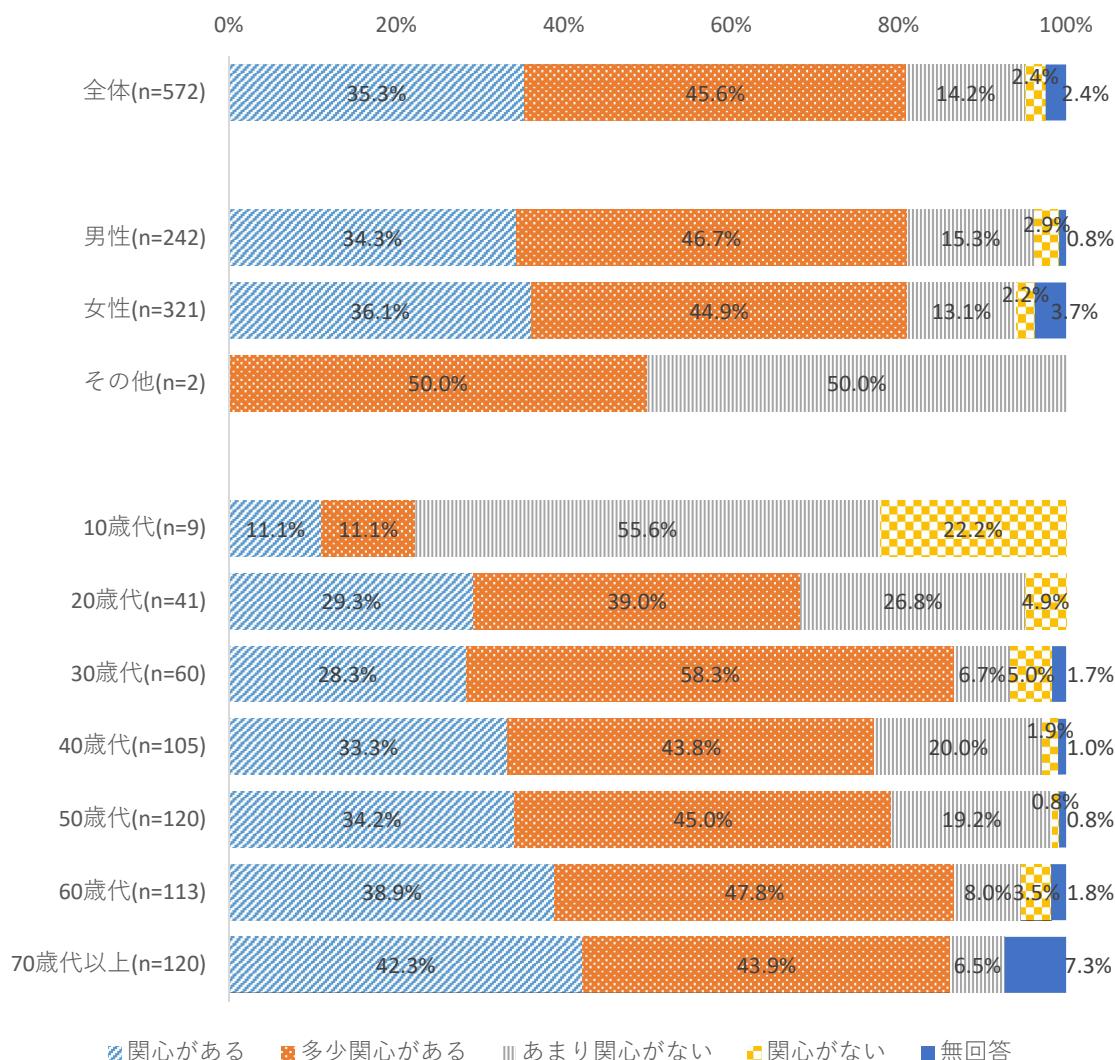
「関心がある」と「多少関心がある」の割合の合計は、8 割を超えています。

性 別

「関心がある」割合は男性、女性ともに 3 割台となっています。

年代別

「関心がある」割合は 70 歳代の 42.3%が最も高く、次いで 60 歳代の 38.9%となっています。40 歳代から 50 歳代は 3 割台、20 歳代から 30 歳代は 2 割台、10 歳代は 11.1%と年代が低いほど低い傾向となっています。



⑤ 同和問題(部落差別)に対する関心度

全 体

「あまり関心がない」の割合が 37.2%で最も高く、次いで「多少関心がある」の割合が 34.6%となっています。

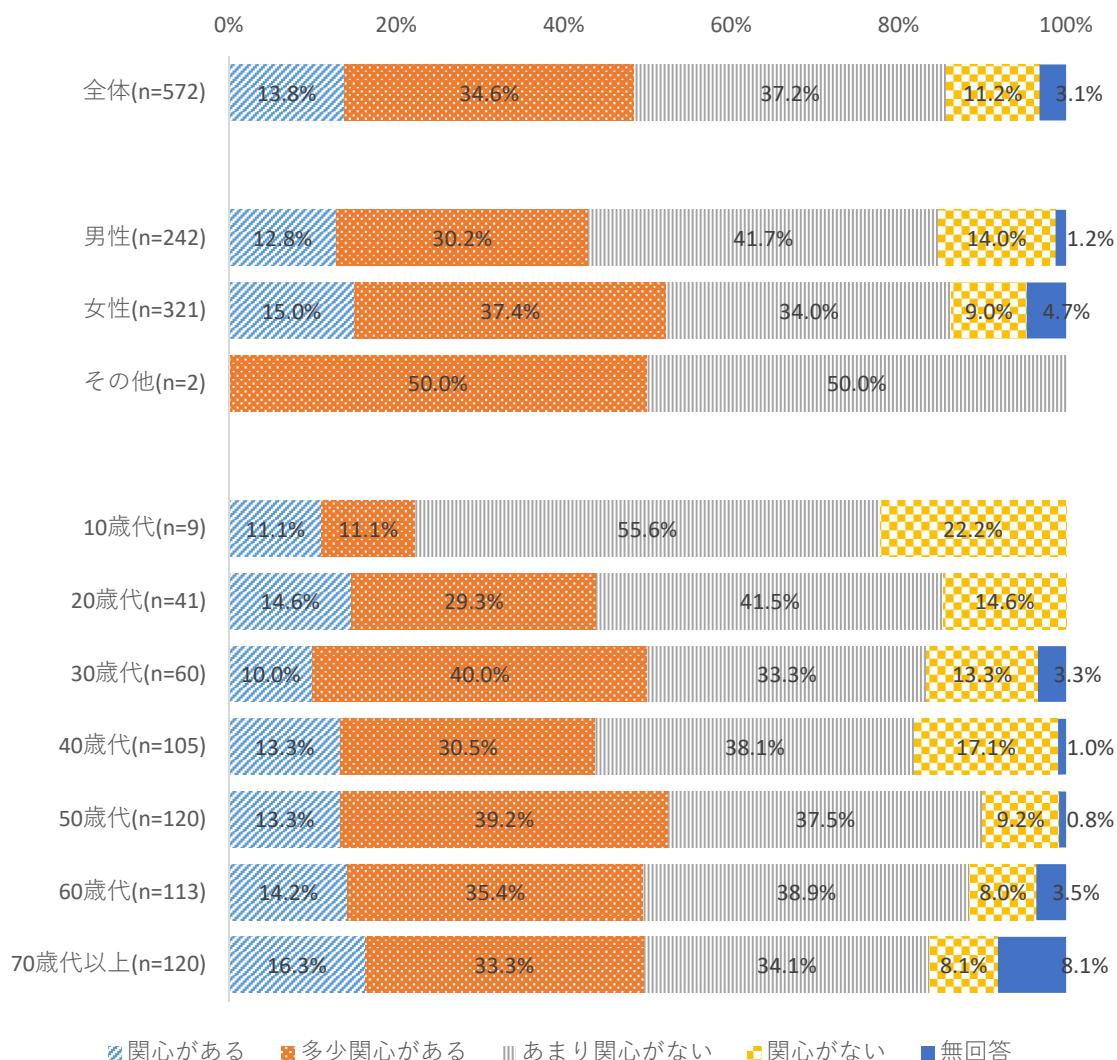
「関心がある」と「多少関心がある」の割合の合計は 48.4%、「あまり関心がない」と「関心がない」の割合は 48.4%となっています。

性 別

「関心がある」割合は男性、女性ともに 1 割台となっています。

年代別

「関心がある」割合は全年代で 1 割台となっており、70 歳代の 16.3%が最も高く、次いで 20 歳代の 14.6%となっています。



⑥ アイヌの人々の人権問題に対する関心度

全 体

「あまり関心がない」の割合が 39.0%で最も高く、次いで「多少関心がある」の割合が 29.4%となっています。

「関心がある」と「多少関心がある」の割合の合計は 41.3%で、「あまり関心がない」と「関心がない」の割合は 56%となっています。

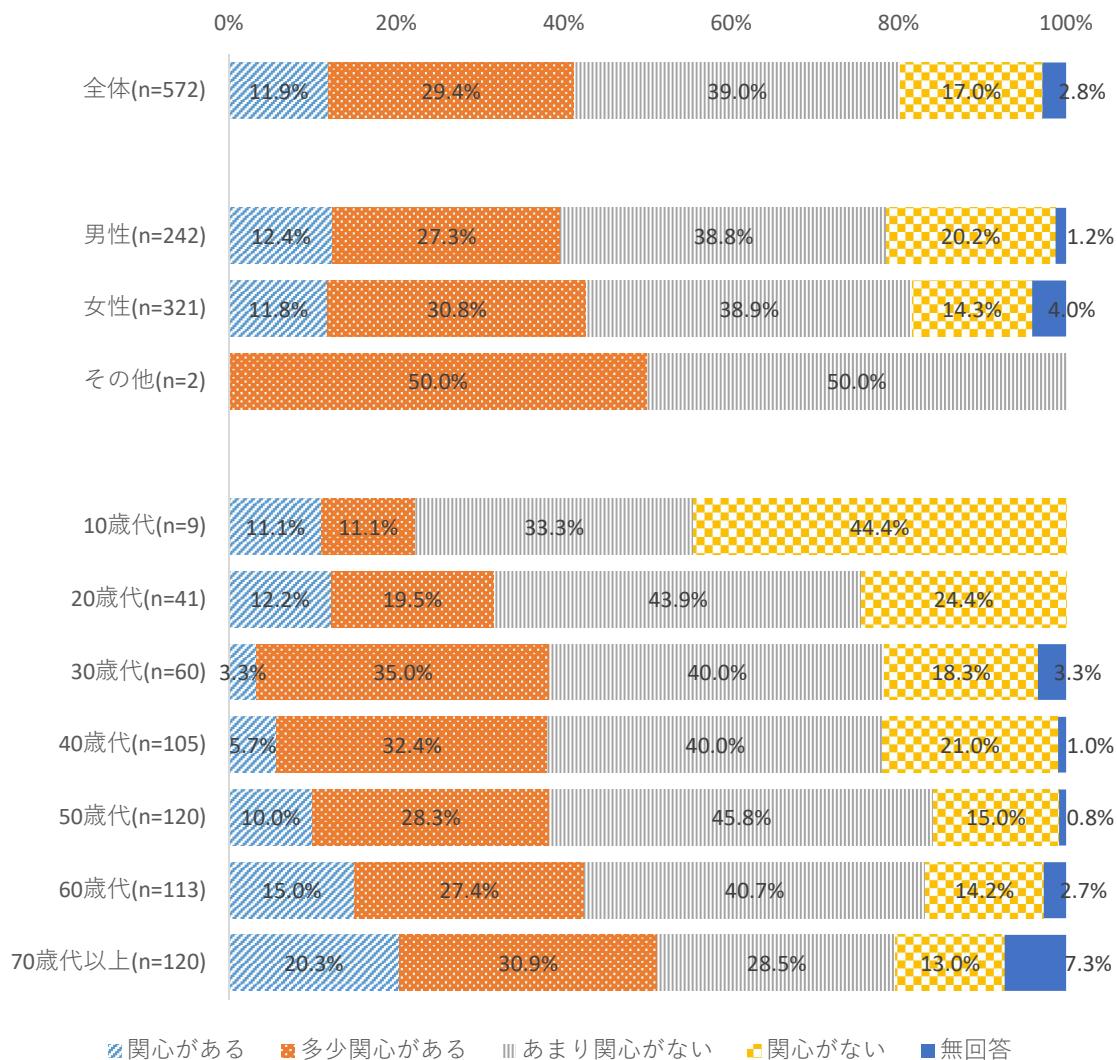
性 別

男性、女性ともに「あまり関心がない」の割合が最も高くなっています。

男性、女性ともに「関心がある」割合は1割台となっています。

年代別

「関心がある」割合は 70 歳代の 20.3%が最も高く、次いで 60 歳代の 15.0%となっており、30 歳代の 3.3%が最も低くなっています。



■ 関心がある ■ 多少関心がある ■ あまり関心がない ■ 関心がない ■ 無回答

⑦ 外国人の人権問題に対する関心度

全 体

「多少関心がある」の割合が 41.6%で最も高く、次いで「あまり関心がない」の割合が 31.8%となっています。

「関心がある」と「多少関心がある」の割合の合計が 54.4%で、「あまり関心がない」と「関心がない」の割合は 43.3%となっています。

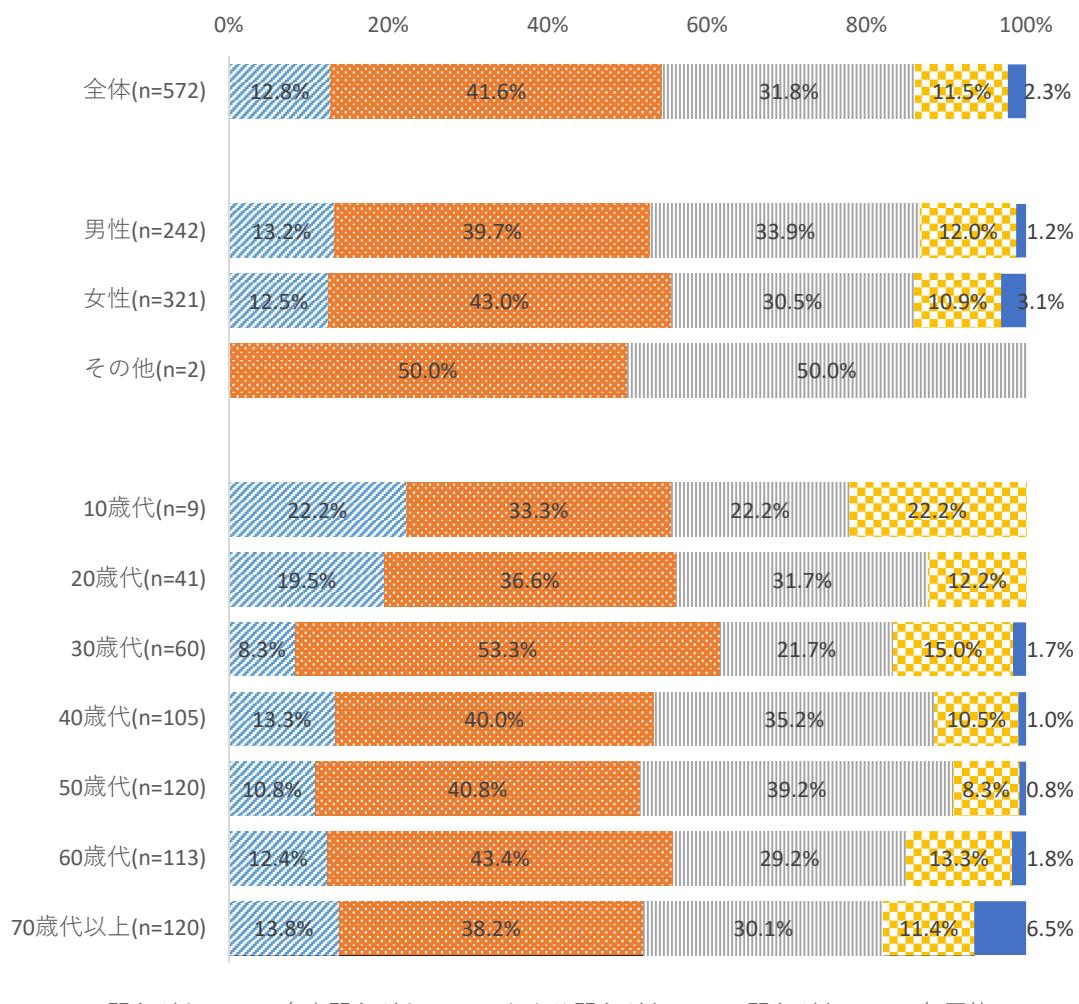
性 別

男性、女性ともに「多少関心がある」の割合が最も高くなっています。

男性、女性ともに「関心がある」割合は1割台となっています。

年代別

「関心がある」割合は 10 歳代の 22.2%が最も高く、次いで 20 歳代の 19.5%となっています。30 歳代の 3.3%が最も低くなっていますが、「関心がある」と「多少関心がある」の合計の割合は、唯一 6 割を超えています。



⑧ エイズ患者やHIV感染者の人権問題に対する関心度

全 体

「多少関心がある」の割合が 41.8%で最も高く、次いで「あまり関心がない」の割合が 32.9%となっています。

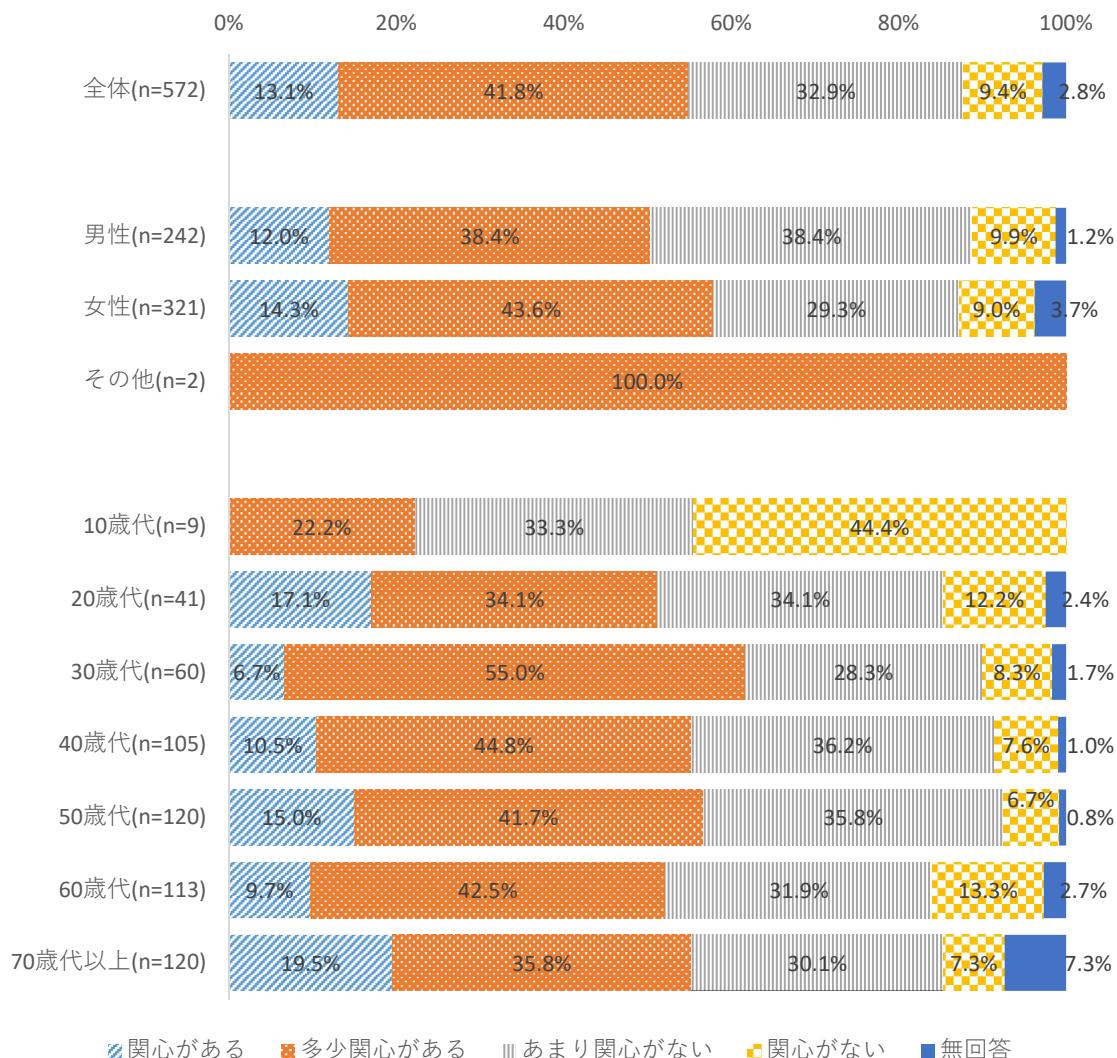
「関心がある」と「多少関心がある」の割合の合計は 54.9%で、「あまり関心がない」と「関心がない」の割合は 42.3%となっています。

性 別

男性、女性ともに「関心がある」割合は1割台となっています。

年代別

「関心がある」割合は全年代で2割未満となっており、70歳代の19.5%が最も高く、次いで20歳代の17.1%となっています。



⑨ 新型コロナウイルス感染症に関する人権問題に対する関心度

全 体

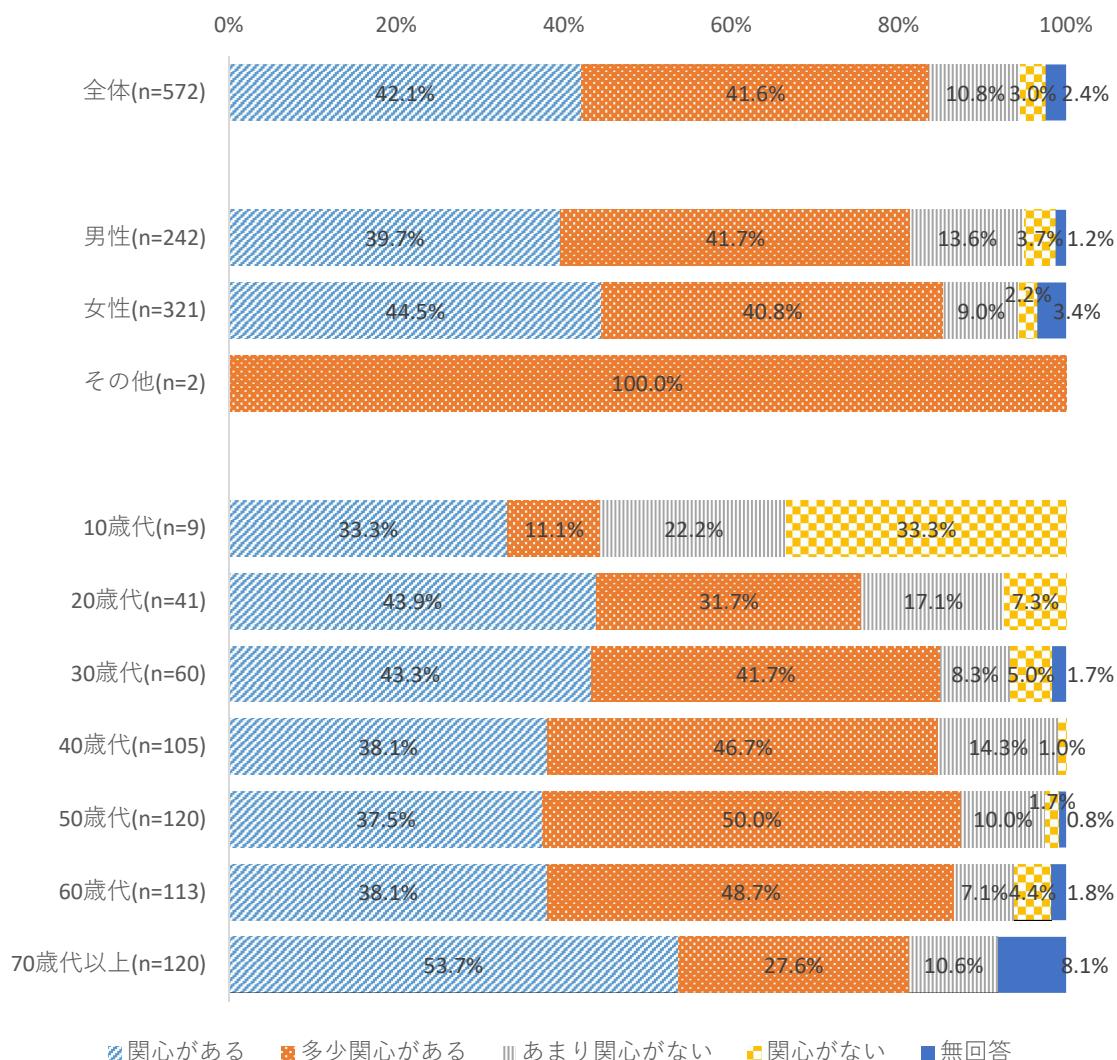
「関心がある」の割合が 42.1%で最も高く、次いで「多少関心がある」の割合が 41.6%となっています。「関心がある」と「多少関心がある」の割合の合計は、8割を越えています。

性 別

「関心がある」割合は男性(39.7%)と比べ、女性(44.5%)が 4.8%高くなっています。

年代別

「関心がある」割合は全年代で 3 割を超えており、70 歳代の 53.7%が最も高く、次いで 20 歳代の 43.9%、30 歳代の 43.3%となっています。



⑩ ハンセン病患者の人権問題に対する関心度

全 体

「あまり関心がない」の割合が 39.0%で最も高く、次いで「多少関心がある」の割合が 34.6 となっています。

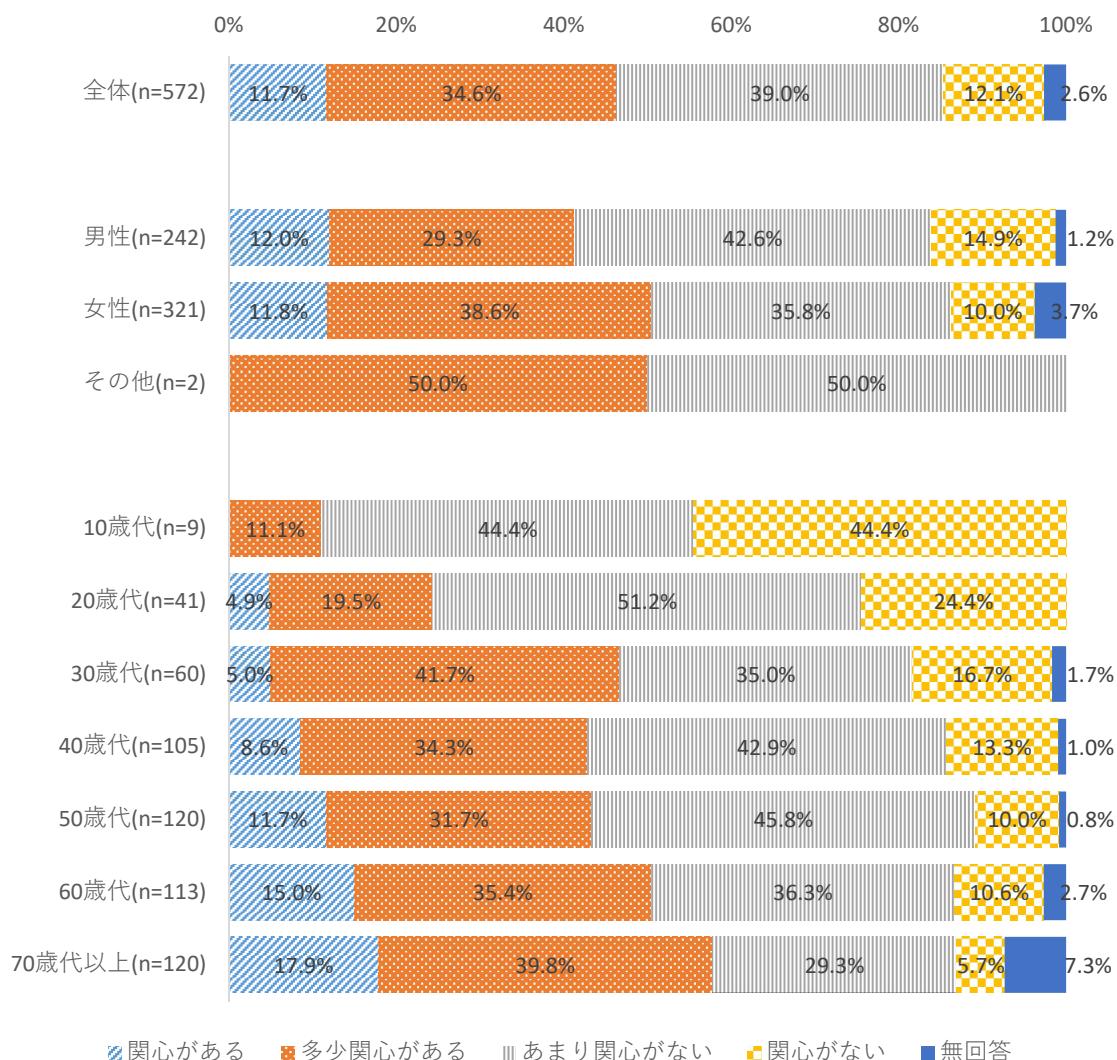
「関心がある」と「多少関心がある」の割合の合計は 46.3%で、「あまり関心がない」と「関心がない」の割合は 51.1%となっています。

性 別

「関心がある」割合は男性、女性ともに 1 割台となっています。

年代別

「関心がある」割合は 70 歳代の 17.9%が最も高く、次いで 60 歳代の 15.0%で、年代が高いほど高くなっています。



⑪ 刑を終えて出所した人の人権問題に対する関心度

全 体

「多少関心がある」の割合が 40.6%で最も高く、次いで「あまり関心がない」の割合が 33.9%となっています。

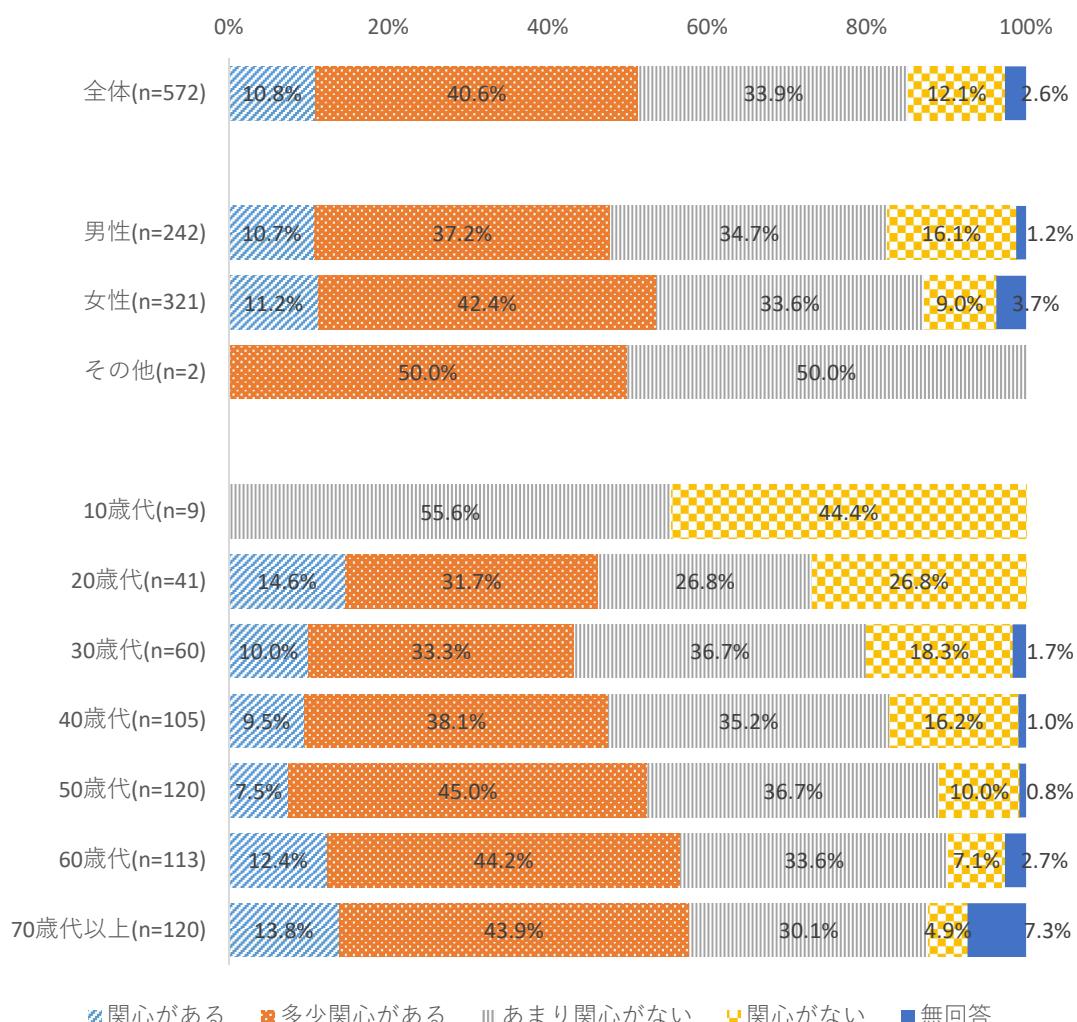
「関心がある」と「多少関心がある」の割合の合計は 51.4%で、「あまり関心がない」と「関心がない」の割合は 46.0%となっています。

性 別

「関心がある」割合は男性、女性ともに 1 割台となっています。

年代別

「関心がある」割合は 20 歳代の 14.6%が最も高く、次いで 70 歳代の 13.8%となっています。「関心がある」と「多少関心がある」の合計の割合は、年代が高いほど高い傾向となっています。



⑫ 犯罪被害者とその家族の人権問題に対する関心度

全 体

「多少関心がある」の割合が 43.7% で最も高く、次いで「関心がある」の割合が 21.5% となっています。「関心がある」と「多少関心がある」の割合の合計は、6 割を越えています。

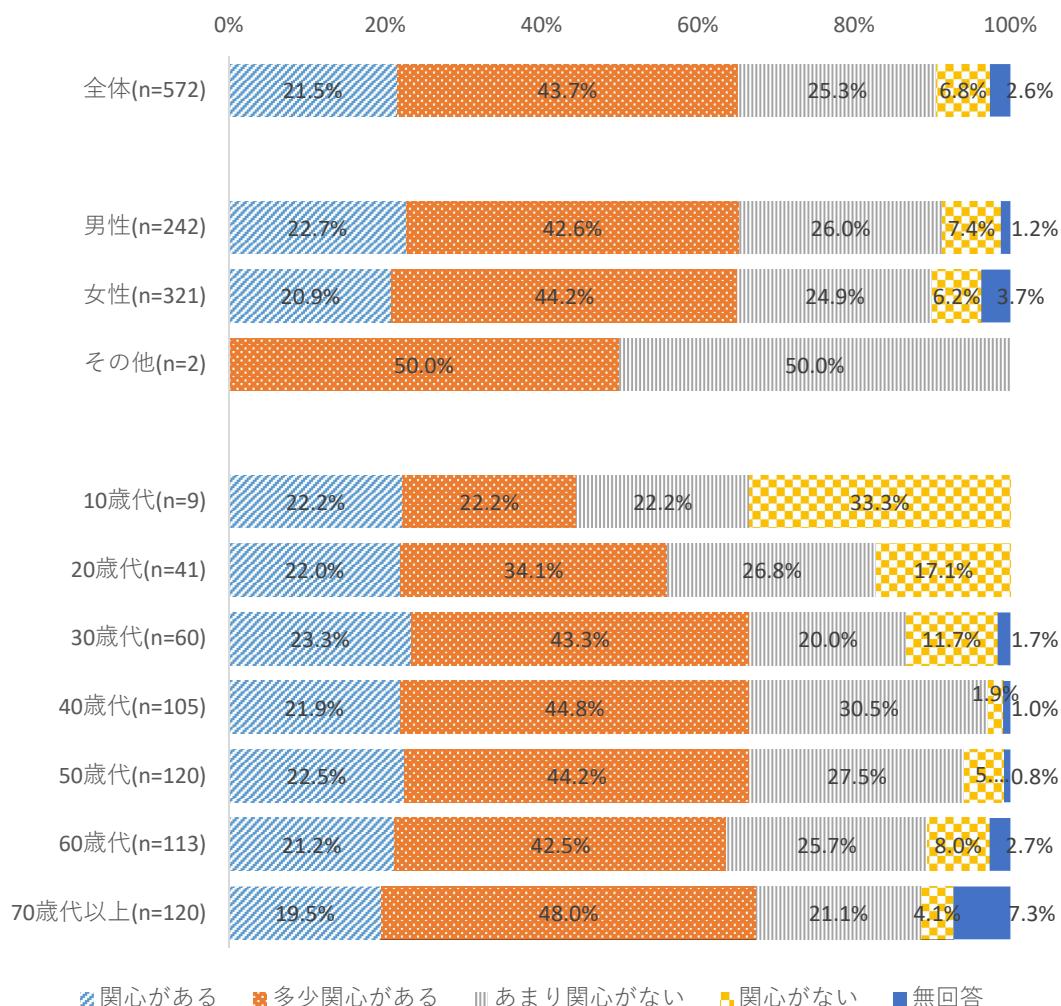
性 別

男性、女性ともに「多少関心がある」の割合が最も高く、次いで「あまり関心がない」となっています。

男性、女性ともに「関心がある」割合は男性、女性ともに 2 割台となっています。

年 齢 別

「関心がある」割合は 70 歳代を除く年代で 2 割台となっています。全年代概ね同程度の割合となっています。



⑬ インターネットによる人権問題に対する関心度

全 体

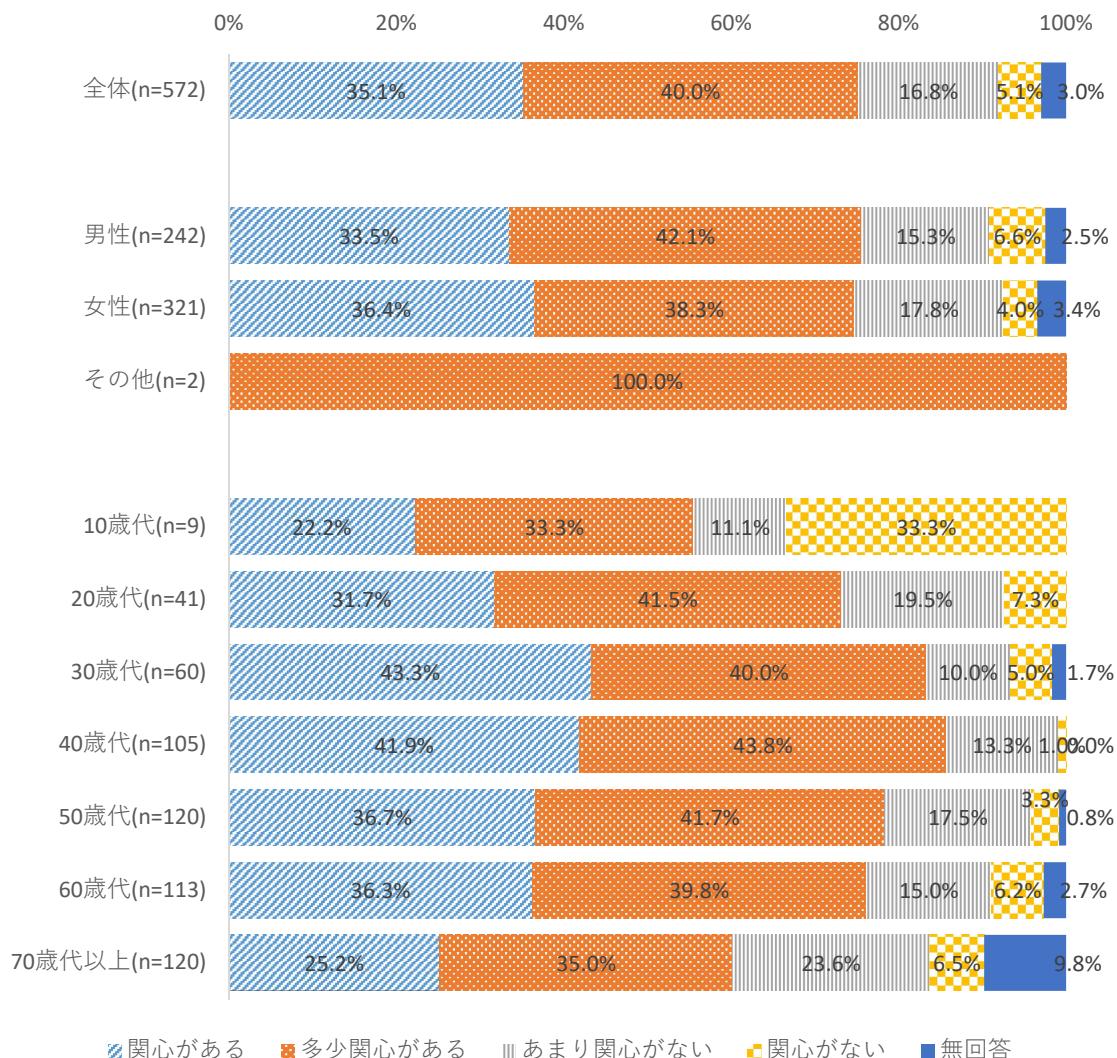
「多少関心がある」の割合が 40.0%で最も高く、次いで「関心がある」の割合が 35.1%となっています。「関心がある」と「多少関心がある」の割合の合計は、7 割を超えています。

性 別

「関心がある」割合は男性、女性ともに 3 割台となっています。また、「関心がある」と「多少関心がある」の合計の割合は 7 割を超えていいます。

年代別

「関心がある」割合は 30 歳代の 43.3%が最も高く、次いで 40 歳代の 41.9%となっています。一方、10 歳代は 22.2%、70 歳代は 25.0%と他の年代と比べ低くなっています。



⑯ 北朝鮮当局による拉致問題に対する関心度

全 体

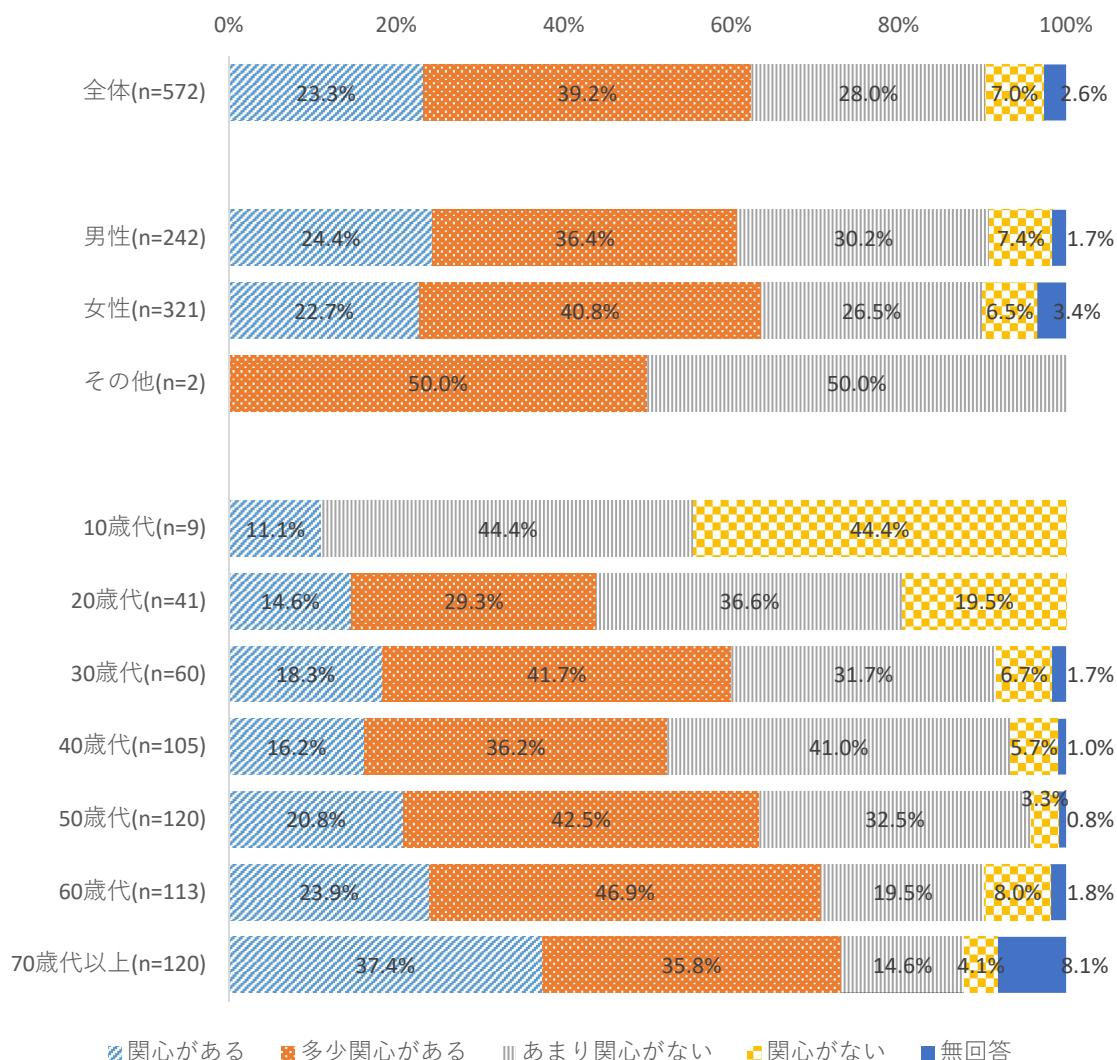
「多少関心がある」の割合が 39.2%で最も高く、次いで「あまり関心がない」の割合が 28.0%となっています。「関心がある」と「多少関心がある」の割合の合計は、6 割を超えています。

性 別

「関心がある」割合は男性、女性ともに 2 割台となっています。また、「関心がある」と「多少関心がある」の合計の割合は 6 割を超えています。

年 齢 別

「関心がある」割合は 70 歳代が 37.4%と最も高く、次いで 60 歳代の 23.9%となっており、年齢が高くなるほど高い傾向となっています。



⑯ ホームレスの人権問題に対する関心度

全 体

「多少関心がある」の割合が 39.5%で最も高く、次いで「あまり関心がない」の割合が 34.6%となっています。

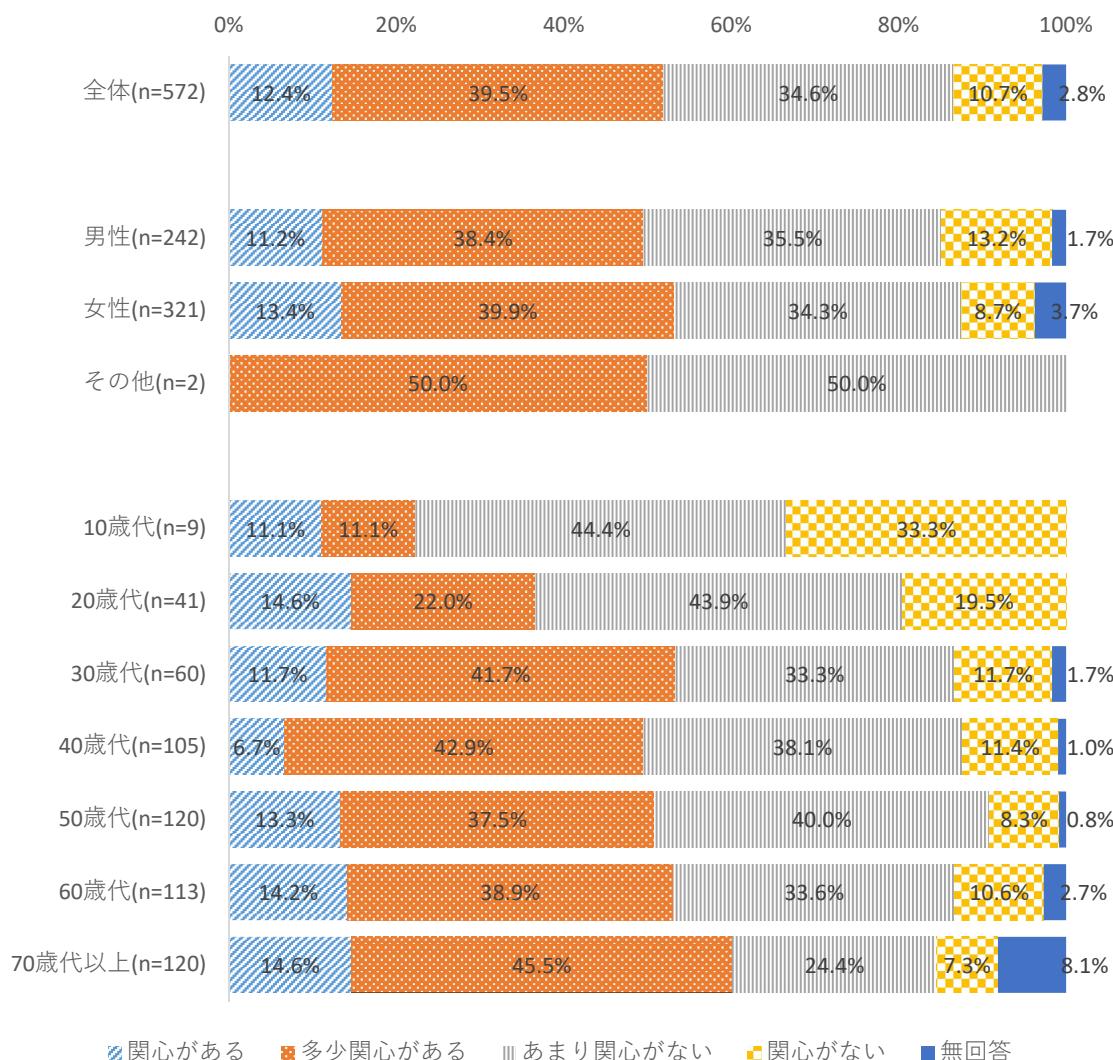
「関心がある」と「多少関心がある」の割合の合計は 51.9%で、「あまり関心がない」と「関心がない」の割合の合計は 45.3%となっています。

性 別

「関心がある」割合は男性、女性ともに 1 割台となっています。

年代別

「関心がある」割合は 70 歳代以上と 20 歳代が 14.6%と最も高くなっています。30 歳代の 6.7%を除き、概ね同程度の割合となっています。



⑯ 多様な性に関する人権問題に対する関心度

全 体

「多少関心がある」の割合が 36.9%で最も高く、次いで「あまり関心がない」の割合が 35.1%となっています。

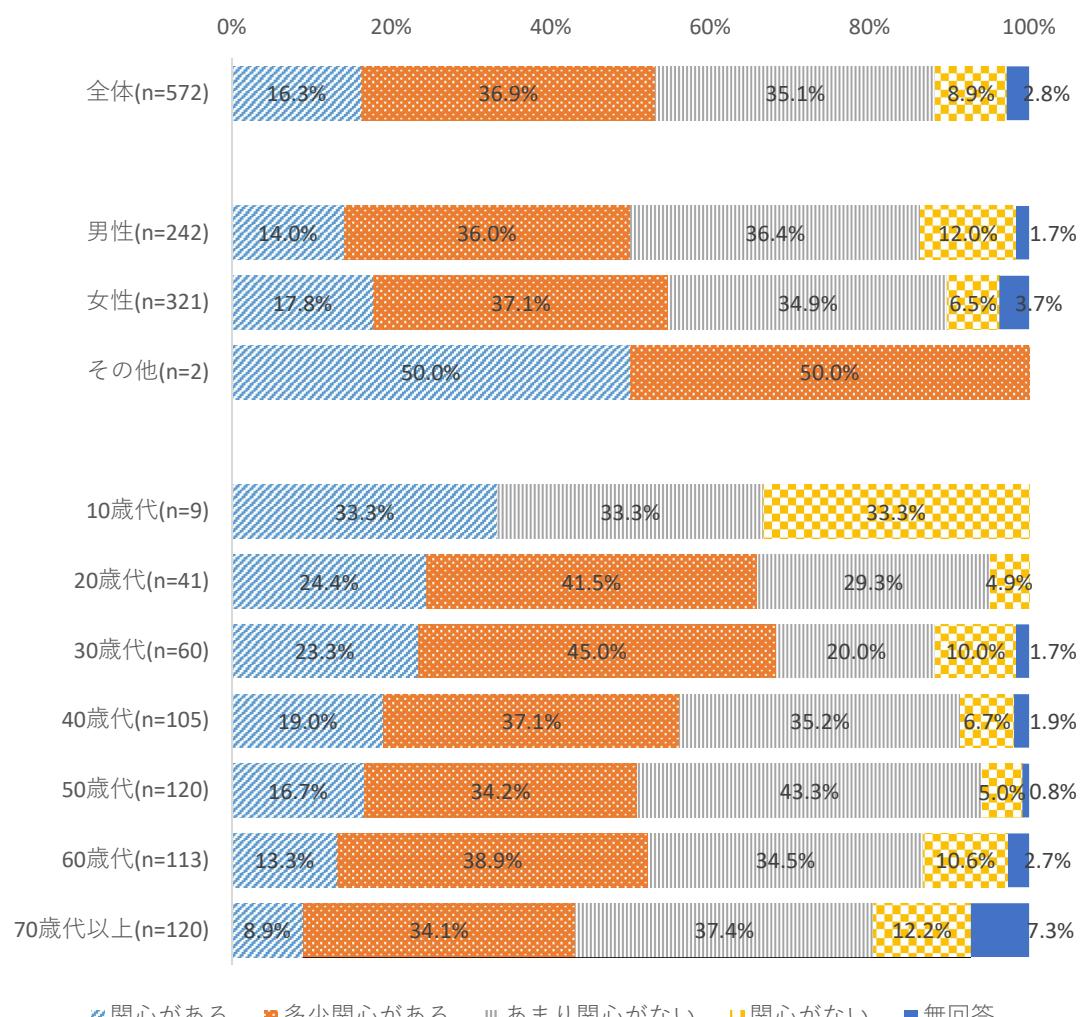
「関心がある」と「多少関心がある」の割合の合計は 53.2%で、「あまり関心がない」と「関心がない」の割合の合計は 44.0%となっています。

性 別

男性、女性ともに「関心がある」割合は男性、女性ともに1割台となっています。また、「関心がある」と「多少関心がある」の合計の割合は5割を超えていきます。

年代別

「関心がある」割合は10歳代の33.3%が最も高く、次いで20歳代の24.4%で、年代が高くなるほど低くなっています。



⑯ 人身取引被害者等の人権問題に対する関心度

全 体

「多少関心がある」の割合が 37.8%で最も高く、次いで「あまり関心がない」の割合が 35.0%となっています。

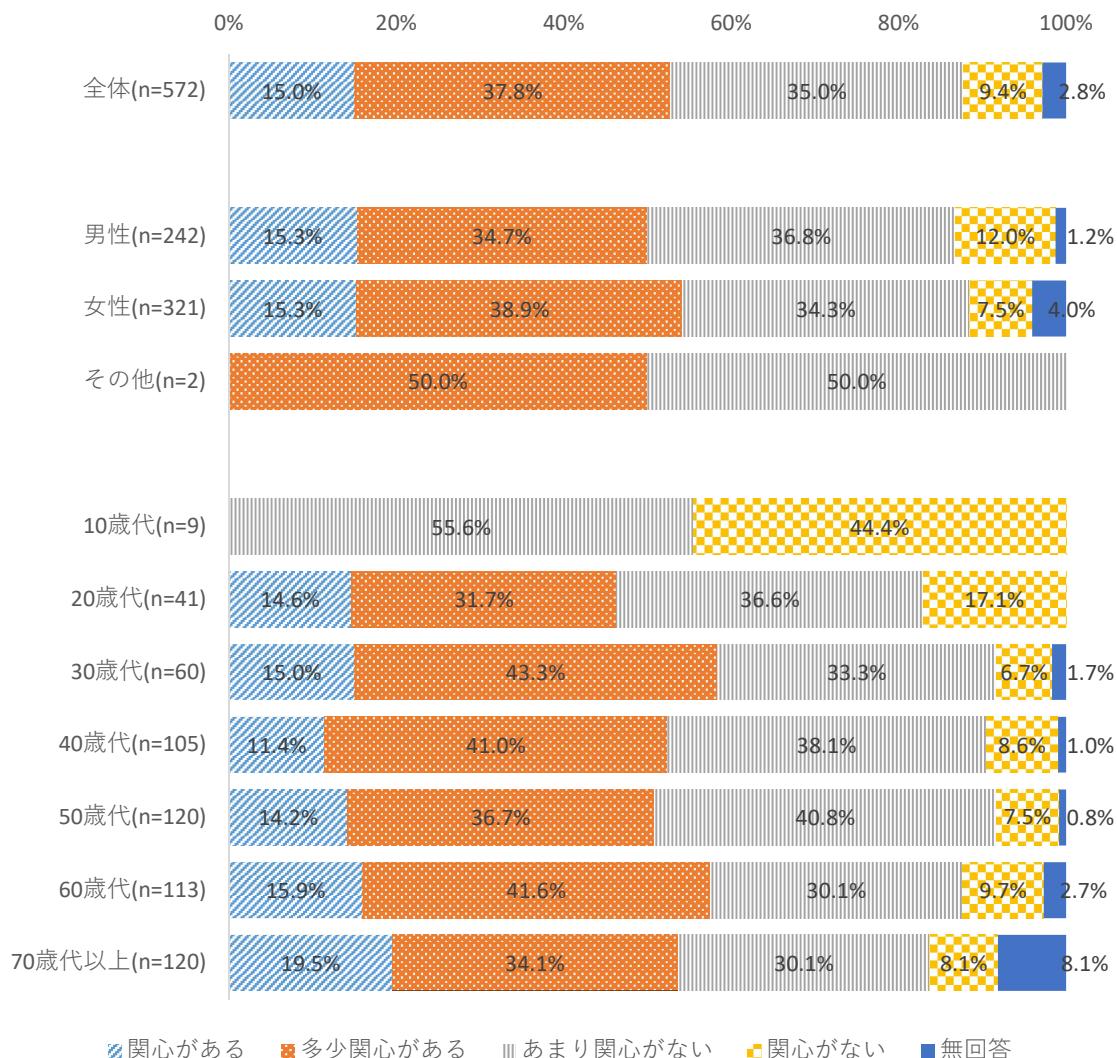
「関心がある」と「多少関心がある」の割合の合計は 52.8%で、「あまり関心がない」と「関心がない」の割合の合計は 44.4%となっています。

性 別

男性、女性ともに「関心がある」割合は 1 割台となっています。また、「関心がある」と「多少関心がある」の合計の割合は 5 割を超えています。

年代別

「関心がある」割合は 70 歳代以上の 19.5%が最も高く、次いで 60 歳代の 15.9%、30 歳代の 15.0%となっています。



⑯ 東日本大震災に起因する人権問題に対する関心度

全 体

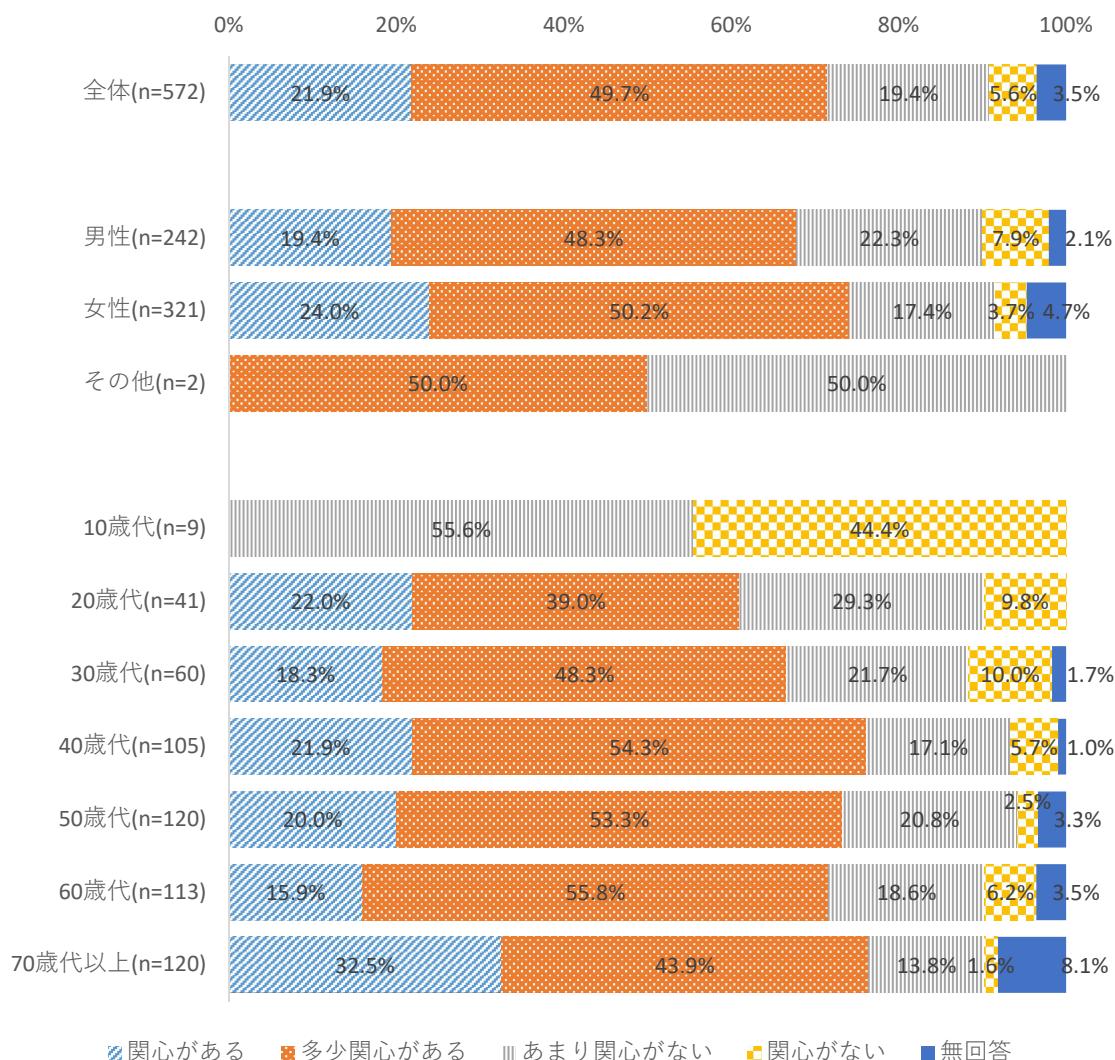
「多少関心がある」の割合が 49.7%で最も高く、次いで「関心がある」の割合が 21.9%となっています。「関心がある」と「多少関心がある」の割合の合計は、7 割を超えています。

性 別

「関心がある」割合は男性(19.4%)と比べ、女性(24.0%)が 4.6 ポイント高くなっています。

年 齢 別

「関心がある」割合は70歳代以上の32.5%が最も高く、次いで20歳代の22.0%、40歳代の21.9%となっています。



⑯ 働く人の人権問題に対する関心度

全 体

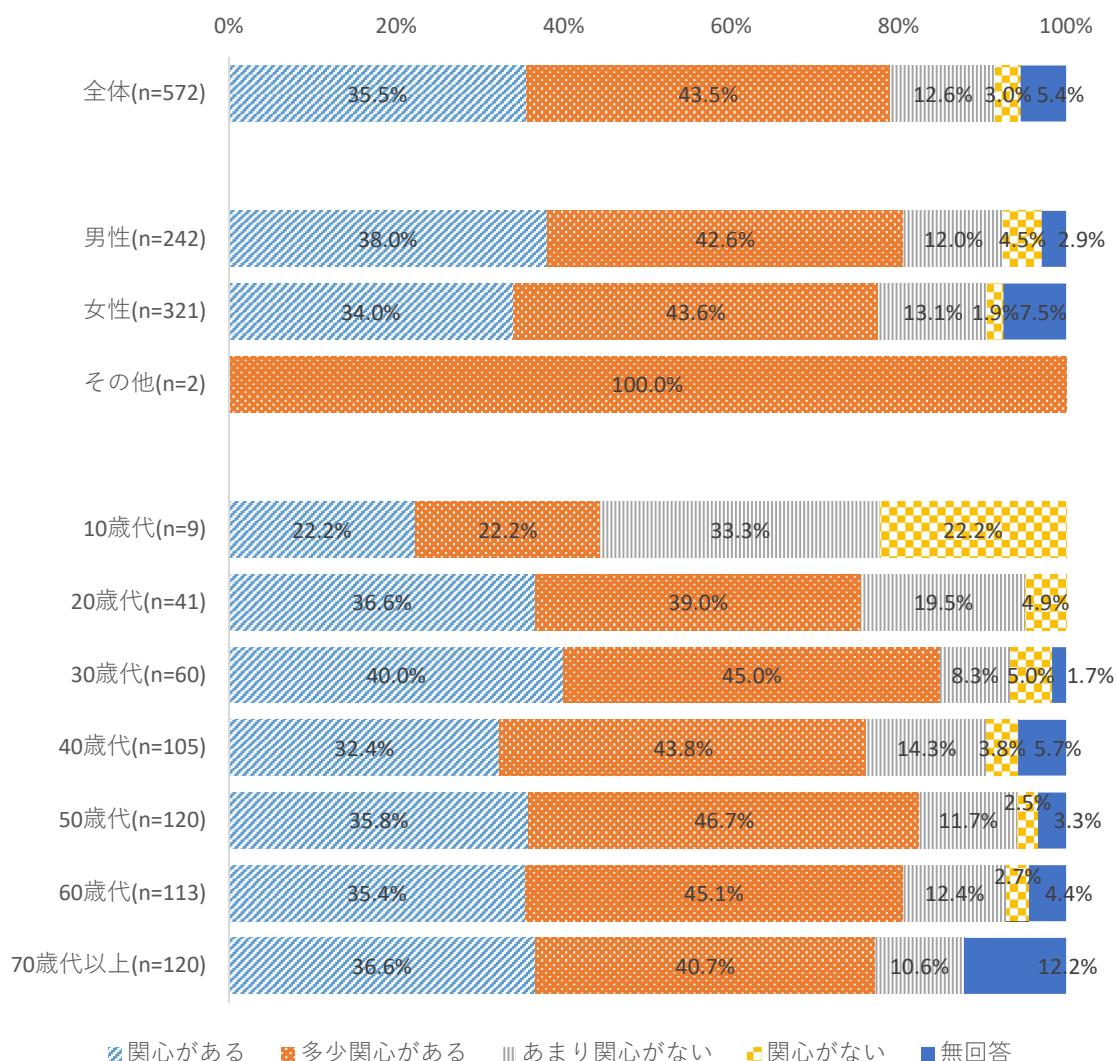
「多少関心がある」の割合が 43.5%で最も高く、次いで「関心がある」の割合が 35.5%となっています。「関心がある」と「多少関心がある」の割合の合計は、7割を超えています。

性 別

「関心がある」割合は女性(34.0%)と比べ、男性(38.0%)が 4.0 ポイント高くなっています。また、「関心がある」と「多少関心がある」の合計の割合は、男性が 8割、女性が 7割を超えています。

年代別

「関心がある」割合は 30 歳代の 40.0%が最も高く、次いで 20 歳代の 36.6%となっています。10 歳代を除く全年代で 3割を超えていいます。



㉚ ①から⑯以外で関心がある人権問題

その他として、16件の自由回答がありました。

- ・ 医療における患者の人権（女性・20歳代）
- ・ 入管問題（女性・30歳代）
- ・ 発達障がい児への周囲の理解（女性・50歳代）
- ・ 家庭内における人権（女性・60歳代）
- ・ いわゆるパワハラや新型コロナウイルス感染症などのハラスメント
（女性・60歳代）
- ・ 低所得者の人権（女性・70歳代以上）
- ・ ひとり親の人権問題（男性・50歳代）
- ・ ひとり暮らしなどの人々の孤立化を防ぐ支援の問題（男性・50歳代）
- ・ アメリカの人種差別や中国ウイグル問題（男性・60歳代）
- ・ 上司の嫌がらせ（男性・60歳代）
- ・ 仕事をしたくても出来ない人の人権問題（男性・70歳代以上）
- ・ その他人権に関する所感など

(2) 人権問題の身近さ

問2 あなたは、「人権」をどの程度身近に感じていますか。

《いずれか 1 つに〇》

全 体

「どちらかといえば身近に感じる」の割合が 34.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば身近に感じない」が 33.7%となっています。

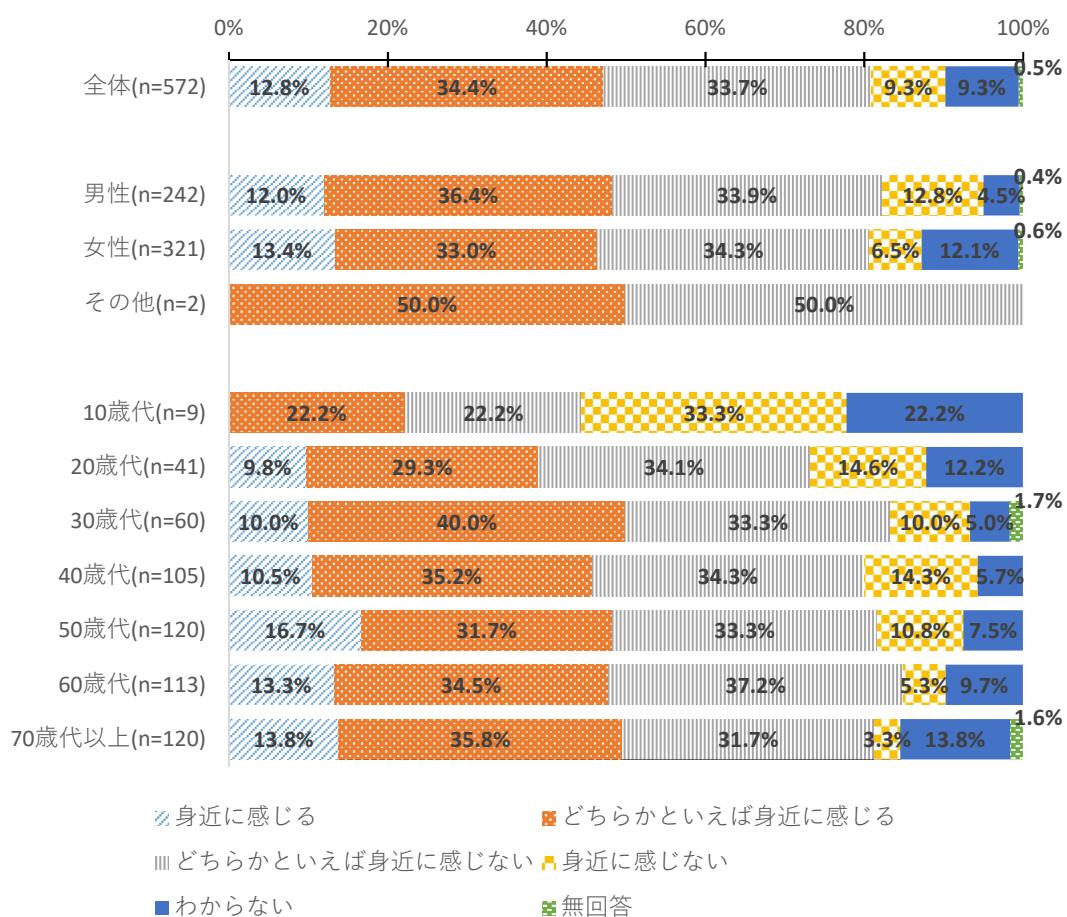
性 別

男性では「どちらかといえば身近に感じる」の割合が36.4%、女性では「どちらかと言えば身近に感じない」の割合が34.3%で最も高くなっています。

「身近に感じない」の割合は、女性(6.5%)と比べて、男性(12.8%)が6.3ポイント高くなっています。

年代別

「身近に感じる」の割合は、50歳代が16.7%で最も高く、次いで70歳代以上が13.3%、60歳代が13.3%となっています。60歳代及び70歳代は「身近に感じない」の割合が他の年代と比べて低くなっています。



(3) 人権意識の変化

問3 あなたは、市民一人ひとりの人権意識は5年前と比べて高くなっていると思いますか。
《いずれか1つに○》

全 体

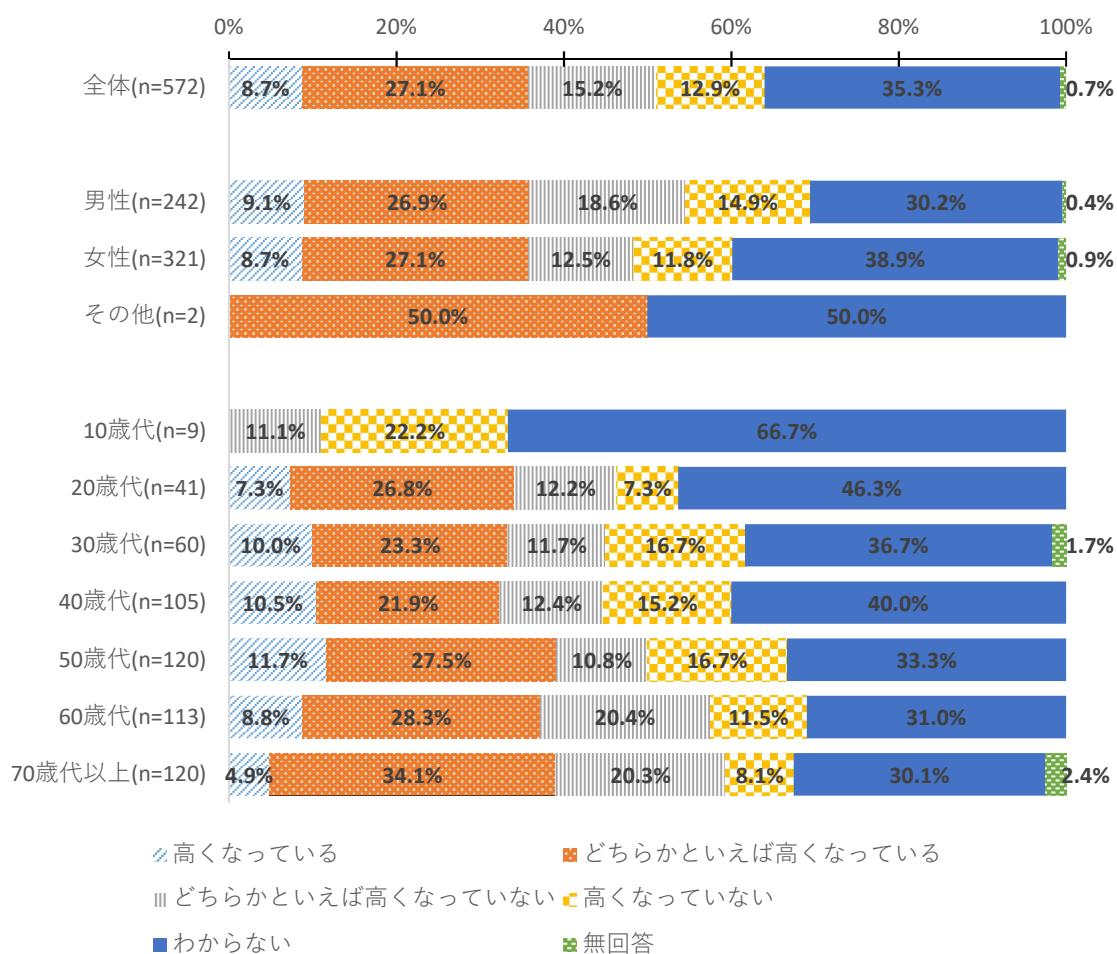
「わからない」の割合が35.3%と最も高くなっています。また、「高くなっている」と「どちらかといえば高くなっている」の合計の割合は35.8%となっています。

性 別

男性、女性ともに「わからない」の割合が最も高く、女性は男性と比べ8.7ポイント高くなっています。

年代別

70歳代以上を除く各年代で「わからない」の割合が最も高くなっています。また、10歳代を除く各年代で「高くなっている」と「どちらかといえば高くなっている」の割合の合計は3割台となっています。



(4) 人権侵害の経験

問4 あなたは、ここ5年間くらいの間に自分の人権が侵害されたと感じたことはありますか。 «いずれか1つに○»

全 体

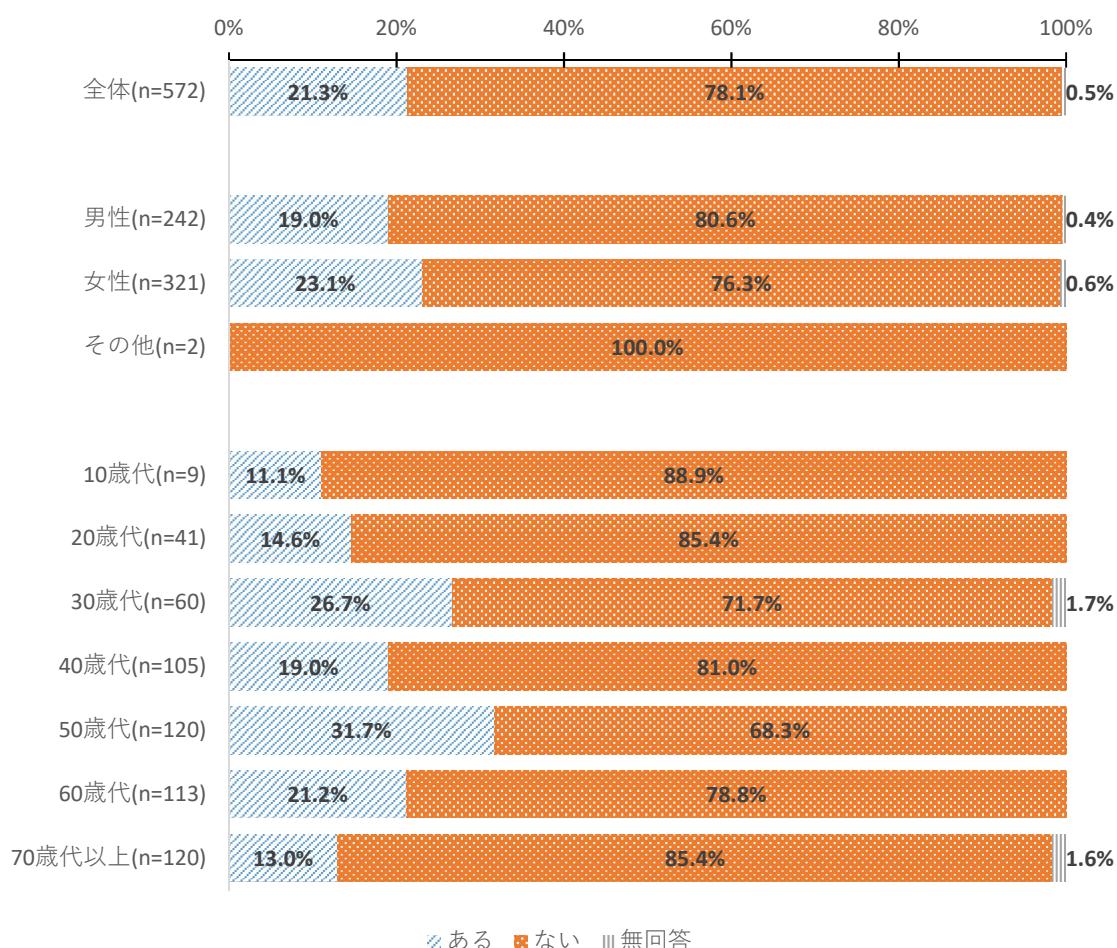
人権が侵害されたと感じたことが「ある」が21.3%、「ない」が78.1%となって います。

性 別

人権が侵害されたと感じたことが「ある」の割合は、女性(23.1%)は男性(19.0%)と比べ4.1ポイント高くなっています。

年代別

人権が侵害されたと感じたことが「ある」の割合は、50歳代が31.7%で最も高 く、次いで30歳代の26.7%、60歳代が21.2%となっています。



△ ある ■ ない ▲ 無回答

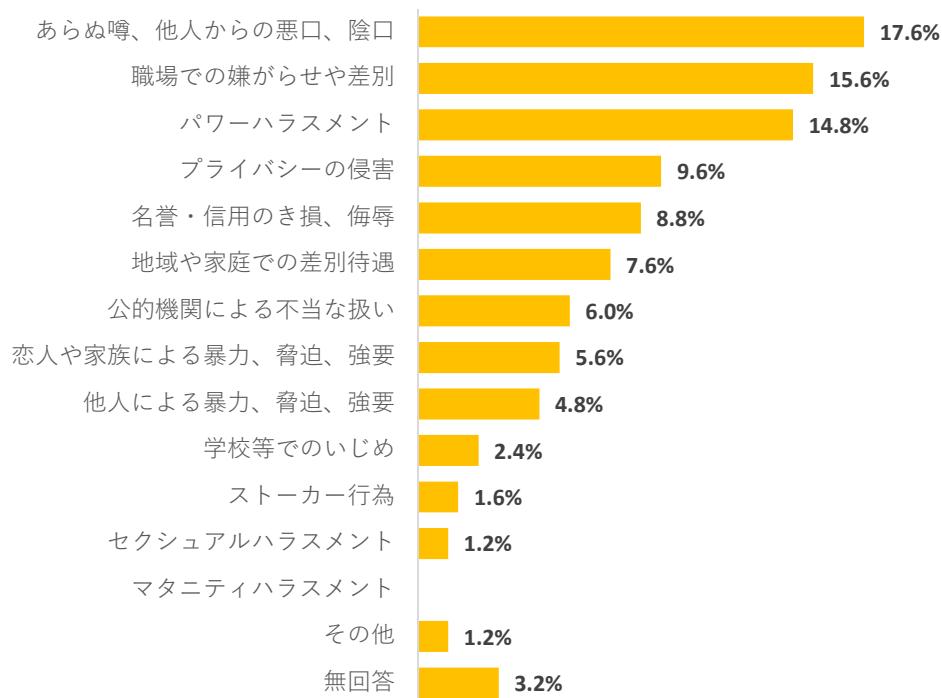
(5) 人権侵害の内容

問4で「1 ある」と答えた方におうかがいします

問5-1 それはどのような人権侵害でしたか。《あてはまるものすべてに○》

全 体

自らの人権が侵害されたと感じたことがあるか尋ねた設問で「ある」と回答した人(122人)のうち、どのような人権侵害か尋ねたところ、「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」の割合が17.6%で最も高く、次いで「職場での嫌がらせや差別」の割合が15.6%、パワーハラスメントが14.8%となっています。



■ n=122

[パワーハラスメント] 地位や権力を利用したいじめや嫌がらせ

[セクシャルハラスメント] 性的な嫌がらせ

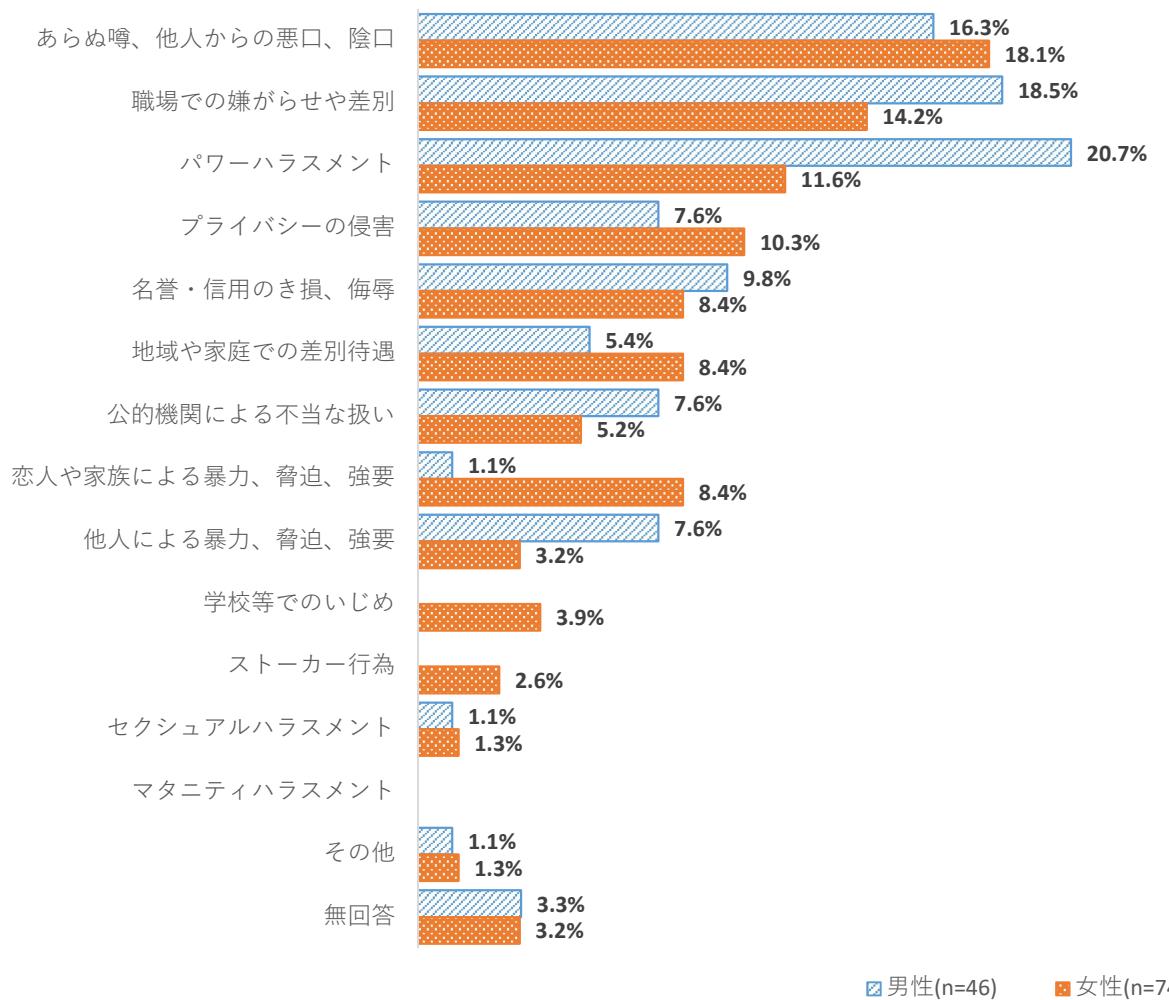
[マタニティハラスメント] 妊娠・出産・育児をきっかけとした嫌がらせ

性別

男性では、「パワーハラスメント」の割合が20.7%で最も高く、次いで「職場での嫌がらせや差別」の割合が18.5%となっています。

女性では、「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」の割合が18.1%で最も高く、次いで「職場での嫌がらせや差別」の割合が14.2%となっています。

「パワーハラスメント」の割合は、女性(11.6%)に比べて男性(20.7%)が9.1ポイント高くなっています。



年代別

全体及び性別において最も割合が高い「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」は、20歳代が30.8%で他の年代より高くなっています。

40歳代は「パワーハラスメント」の割合が30.0%で、他の年代と比べて高くなっています。

	あ ら ぬ 噂 、 他 人 か ら の 悪 口 、 陰 口	職 場 で の 嫌 が ら せ や 差 別	バ ワ ー ハ ラ ス メ ン ト	ブ ラ イ バ シ ー の き 損 、 侮 辱	名 誉 ・ 信 用	地 域 や 家 庭	公 的 機 関	恋 人 や 家 族	他 人 に よ る 暴 力 、 脅 迫 、 強 要	学 校 等 で の い じ め	ス ト ー カ ー 行 為	セ ク シ ュ ア ル ハ ラ ス メ ント	マ タ ニ テ イ ハ ラ ス メ ント	そ の 他	無 回 答
全体(n=122)	17.6% (1位) 15.6% (2位)	14.8% (3位) 9.6%	8.8%	7.6%	6.0%	5.6%	4.8%	2.4%	1.6%	1.2%	0.0%	3.2%	1.2%		
10歳代(n=1)	0.0% (1位)	0.0% (1位) 50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0% (1位)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代(n=6)	30.8% (1位) 15.4% (2位)	15.4% (2位) 15.4% (2位)	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4% (2位)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代(n=16)	17.1% (1位) 17.1% (1位)	14.6% (3位) 9.8%	14.6% (3位)	4.9%	4.9%	0.0%	9.8%	0.0%	2.4%	2.4%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%
40歳代(n=20)	12.5% (3位) 15.0% (2位)	30.0% (1位) 5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	7.5%	5.0%	2.5%	0.0%	2.5%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50歳代(n=38)	12.5% (3位) 20.0% (1位)	16.3% (2位) 7.5%	7.5%	10.0%	6.3%	8.8%	5.0%	2.5%	1.3%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%		
60歳代(n=24)	23.1% (1位) 15.4% (2位)	10.3% (3位) 7.7%	7.7%	5.1%	5.1%	5.1%	2.6%	0.0%	2.6%	2.6%	0.0%	7.7%	5.1%		
70歳代以上(n=16)	23.5% (1位) 5.9%	0.0% (2位) 17.6% (2位)	11.8%	14.7% (3位)	11.8%	5.9%	2.9%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%		

項目別

全體と比べて+5ポイント
全體と比べて+10ポイント

年代別

(●位) 割合が高い上位3位

(6) 人権侵害時の相談の有無

問4で「1 ある」と答えた方におうかがいします

問5-2 その時、あなたはどうされましたか。

《いづれか1つに○》

全 体

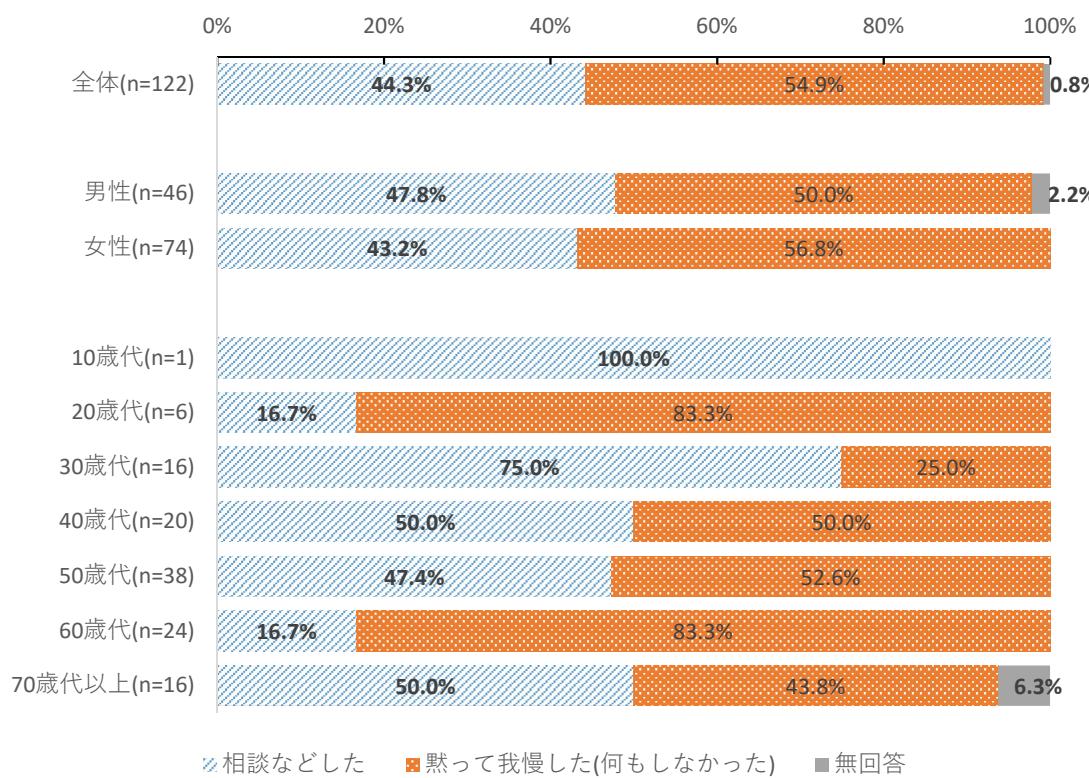
自分の人権が侵害されたと感じたことがあるかを尋ねた設問で「ある」と回答した人(122人)のうち、その時に相談したかを尋ねたところ、「相談などした」の割合が44.3%、「黙って我慢した(何もしなかった)」の割合が54.9%で、相談などしたと比べ10.6ポイント高くなっています。

性 別

「黙って我慢した(何もしなかった)」の割合は、男性(50.0%)に比べ女性(56.8%)が6.8ポイント高くなっています。

年代別

20歳代、50歳代及び60歳代は「相談などした」の割合より、「黙って我慢した(何もしなかった)」の割合が高くなっています。



(7) 人権侵害時の相談相手

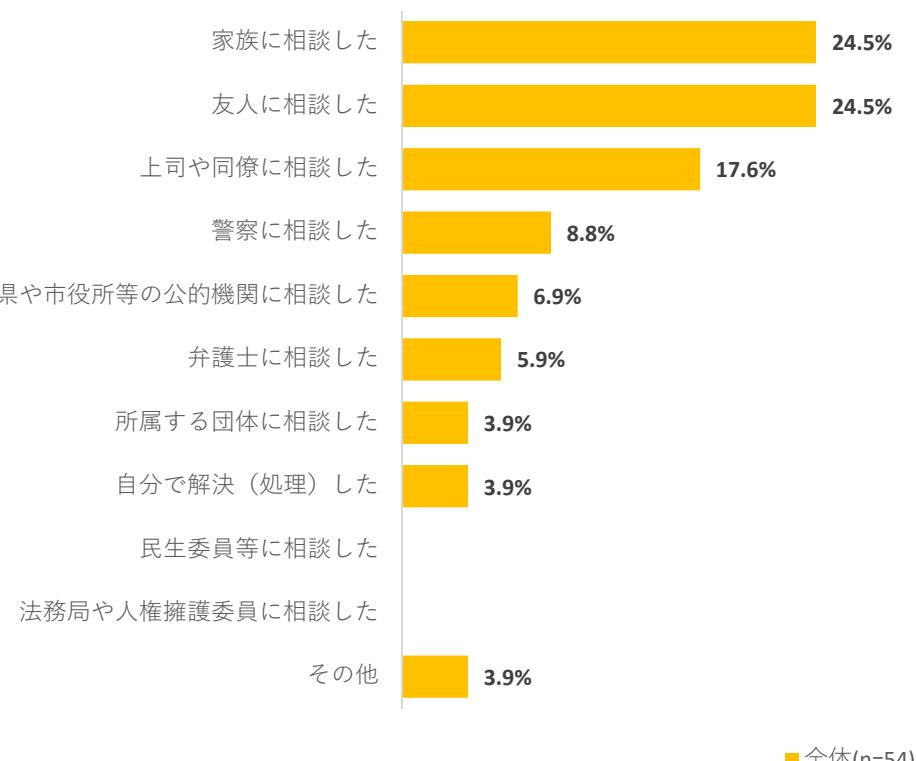
問5-2で「1 相談などした」と答えた方におうかがいします

問5-3 誰に相談しましたか。

«あてはまるものすべてに○»

全 体

自分の人権が侵害されたと感じたことがあり、その時に対応したかを尋ねた設問で「相談などした」と回答した人(54人)のうち、「家族に相談した」及び「友人に相談した」の割合が24.5%で最も高く、次いで「上司や同僚に相談した」の割合が24.5%となっています。



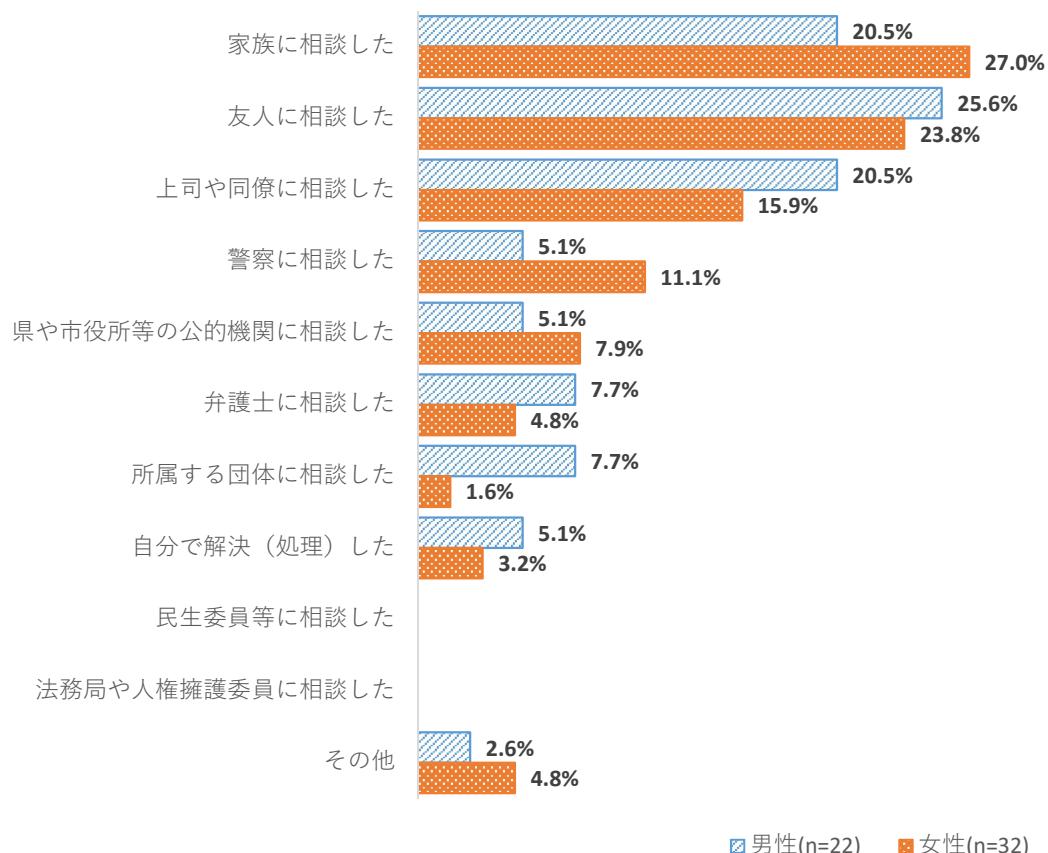
■ 全体(n=54)

性別

男性は「友人に相談した」が25.6%で最も高く、次いで「家族に相談した」及び「上司や同僚に相談した」が20.5%となっています。

女性は「家族に相談した」が27.0%と最も高く、次いで「友人に相談した」が23.8%、「上司や同僚に相談した」が15.9%となっています。

男性、女性ともに上位3位の相談相手は、全体における上位3位の相談相手となっています。



年代別

各年代、「家族に相談した」「友人に相談した」「上司や同僚に相談した」の割合が高くなっています。

	家族に相談した	友人に相談した	上司や同僚に相談した	所属する団体に相談した	弁護士に相談した	県や市役所等の公的機関に相談した	警察に相談した	自分で解決（処理）した	民生委員等に相談した	法務局や人権擁護委員に相談した	その他
全体	24.5% (1位)	24.5% (1位)	17.6% (3位)	8.8%	6.9%	5.9%	3.9%	3.9%	0.0%	0.0%	3.9%
10歳代(n=1)	0.0%	100.0% (1位)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代(n=1)	33.3% (1位)	33.3% (1位)	33.3% (1位)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代(n=12)	33.3% (1位)	16.7% (3位)	25.0% (2位)	4.2%	4.2%	8.3%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	4.2%
40歳代(n=10)	26.1% (1位)	26.1% (1位)	13.0% (3位)	8.7%	8.7%	4.3%	8.7%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%
50歳代(n=18)	18.2% (2位)	27.3% (1位)	18.2% (2位)	12.1%	9.1%	6.1%	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%	6.1%
60歳代(n=4)	16.7% (2位)	33.3% (1位)	16.7% (2位)	0.0%	0.0%	16.7% (2位)	0.0%	16.7% (2位)	0.0%	0.0%	0.0%
70歳代以上(n=8)	25.0% (1位)	16.7% (2位)	8.3%	16.7% (2位)	8.3%	0.0%	16.7% (2位)	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%

項目別

全体と比べて+5ポイント
全体と比べて+10ポイント

年代別

(●位) 割合が高い上位3位

(8) 人権侵害時に対応しなかった理由

問5-2で「2 黙って我慢した(何もしなかった)」と答えた方におうかがいします

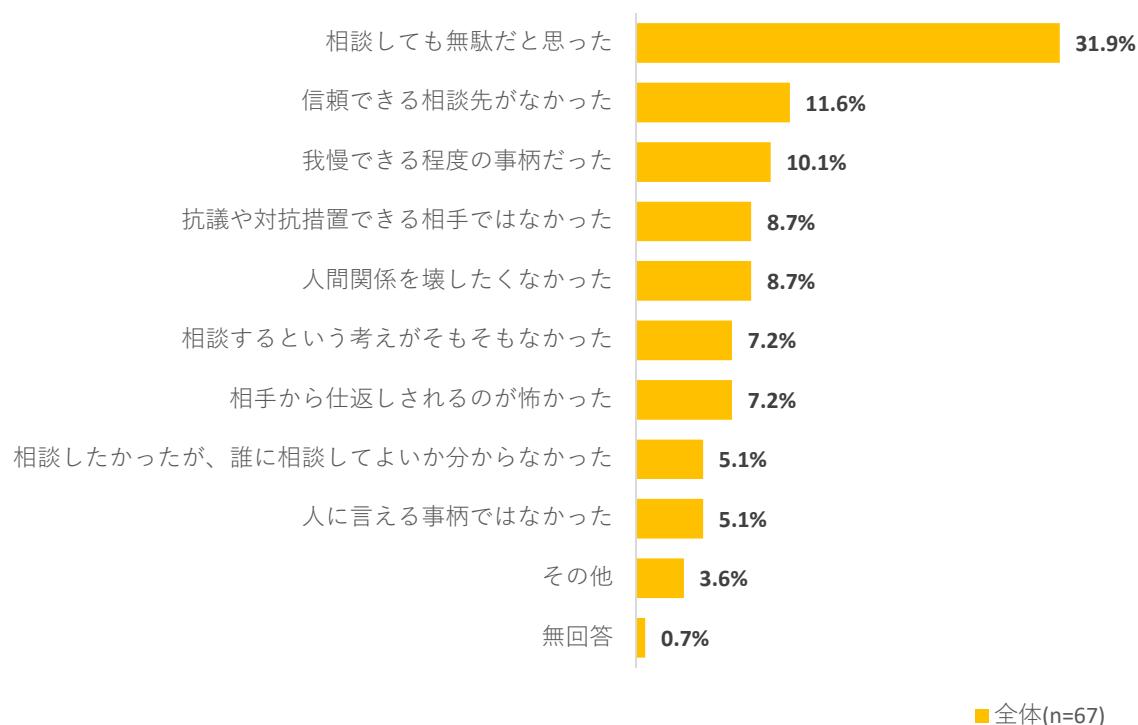
問5-4 その理由はなぜですか。

«あてはまるものすべてに○»

全 体

自分の人権が侵害されたと感じたことがあり、その時に対応したかを尋ねた設問で「黙って我慢した(何もしなかった)」と回答した人(67人)のうち、「相談しても無駄だと思った」の割合が31.9%で最も高く、次いで「信頼できる相談先がなかった」の割合が11.6%、「我慢できる程度の事柄だった」が10.1%となってています。

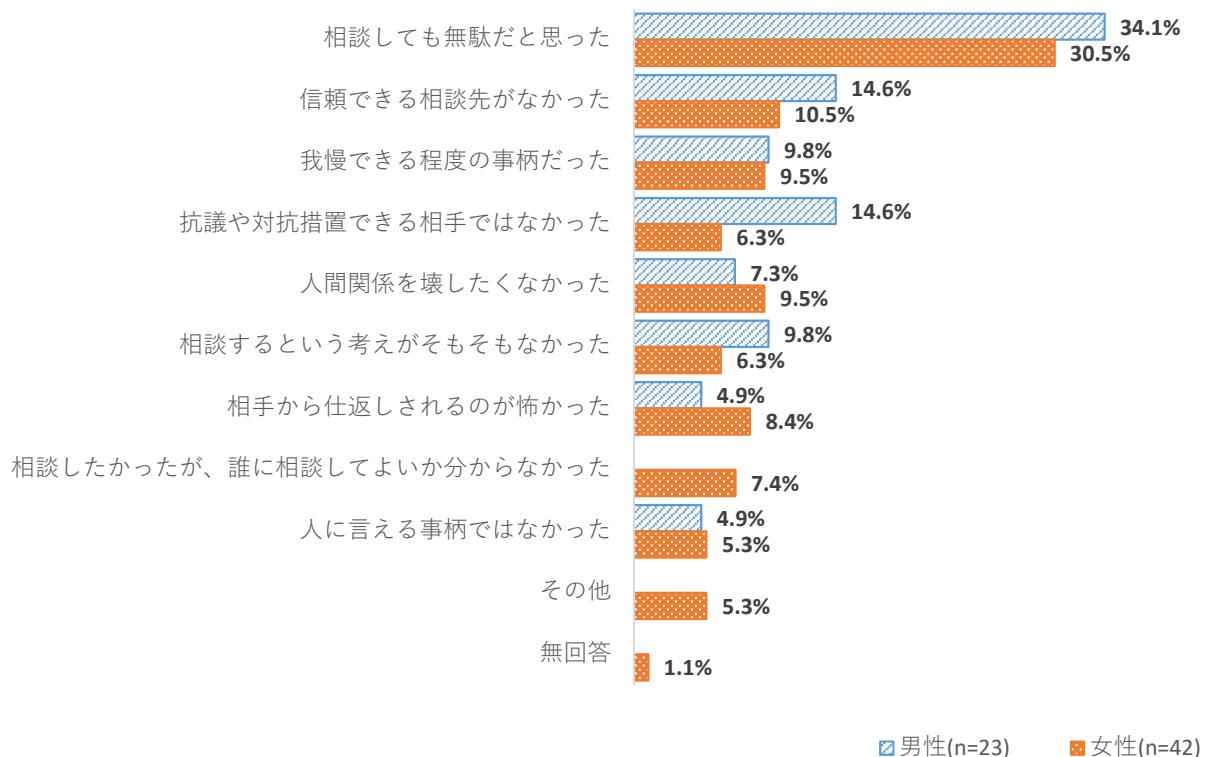
一番割合が高い「相談しても無駄だと思った」は、他の項目と比べ20ポイント以上も高くなっています。



性別

男性、女性ともに「相談しても無駄だと思った」の割合が最も高く、次いで「信頼できる相手先がなかった」の割合が高くなっています。

「抗議や対抗措置できる相手ではなった」の割合は、女性(6.3%)と比べ、男性(14.6%)は8.3ポイント高くなっています。



年代別

全体で最も割合が高い「相談しても無駄だと思った」は、30歳代から50歳代で全体における割合より高くなっています。

	相談してきても無駄だと思った	信頼できる相談先がなかつた	我慢できることの相手柄だつた	抗議や対抗措置ができる相手だつた	人間関係を壊したくなかった	相談するという考え方がそもなかつた	相手から仕返しされるのが怖かつた	相談したかったが、誰に相談してよいか分からなかつた	人に言える事柄ではなかつた	その他	無回答
全体(n=67)	31.9% (1位)	11.6% (2位)	10.1% (3位)	8.7%	8.7%	7.2%	7.2%	5.1%	5.1%	3.6%	0.7%
10歳代(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代(n=5)	28.6% (2位)	0.0% (1位)	42.9% (3位)	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3% (3位)
30歳代(n=4)	50.0% (1位)	0.0% (2位)	16.7% (2位)	16.7% (2位)	16.7% (2位)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40歳代(n=10)	35.0% (1位)	10.0% (3位)	10.0% (3位)	15.0% (2位)	5.0% (2位)	10.0% (3位)	10.0% (3位)	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50歳代(n=20)	39.5% (1位)	18.4% (2位)	0.0%	13.2% (3位)	10.5% (3位)	2.6%	5.3%	5.3%	0.0%	5.3%	0.0%
60歳代(n=20)	28.0% (1位)	12.0% (2位)	10.0% (1位)	4.0% (2位)	4.0% (2位)	12.0% (2位)	8.0%	6.0%	12.0% (2位)	4.0%	0.0%
70歳代以上(n=7)	18.8% (1位)	6.3%	12.5% (3位)	6.3% (1位)	18.8% (1位)	6.3%	12.5% (3位)	6.3%	6.3%	6.3%	0.0%

項目別

全体と比べて+5ポイント

全体と比べて+10ポイント

年代別

(●位) 割合が高い上位3位

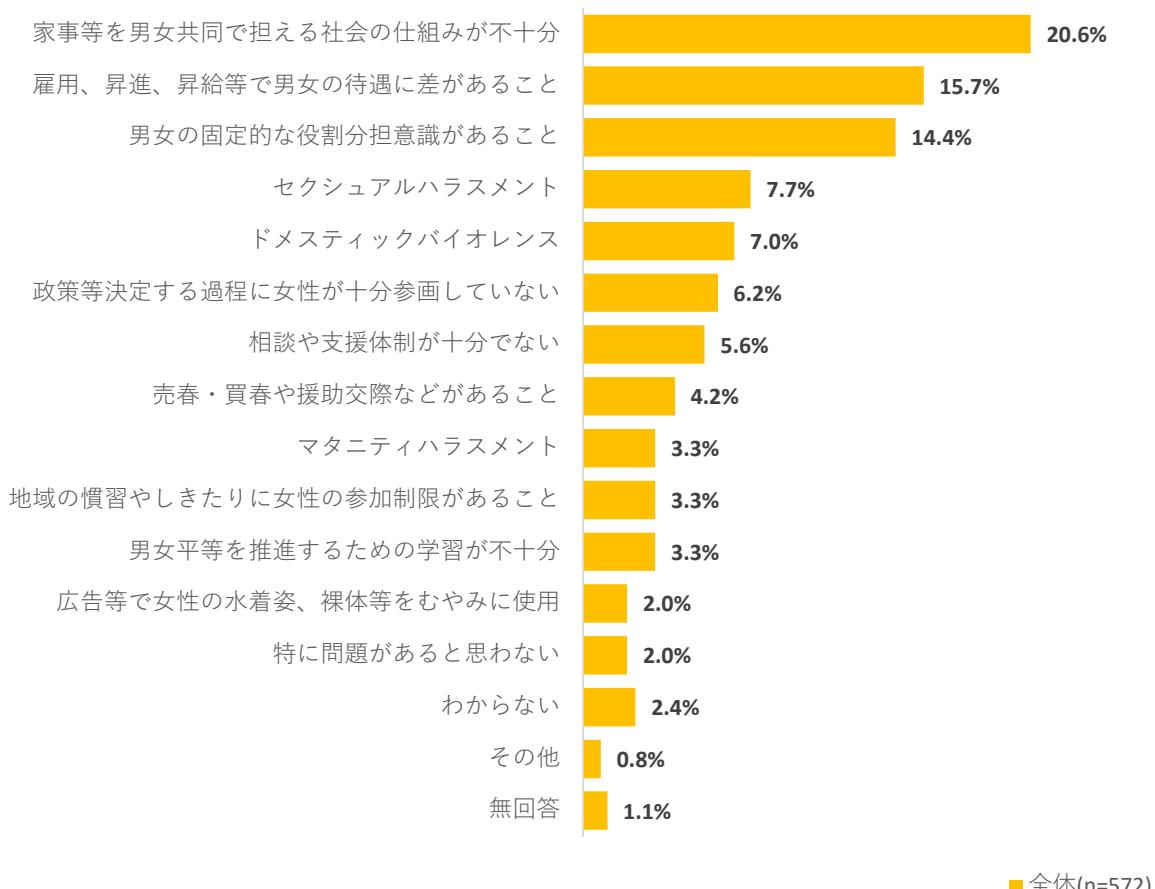
2 女性の人権について

(1) 女性の人権に対する問題意識

問6 女性の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことで
すか。 <○は3つまで>

全 体

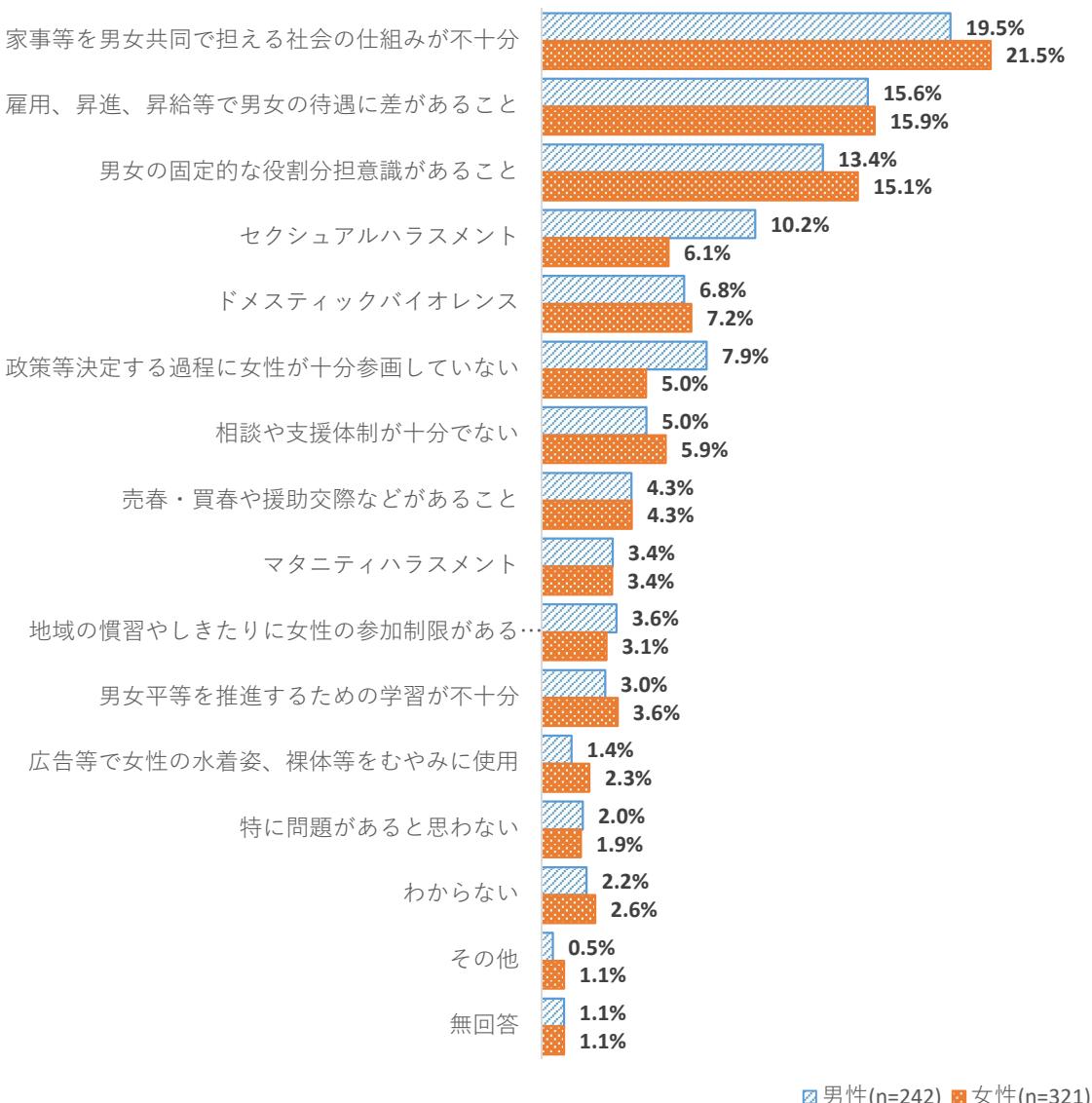
女性の人権に対する問題について尋ねたところ、「家事等を男女共同で担える社会の仕組みが不十分」の割合が 20.6%で最も高く、次いで「雇用、昇進、昇給等で男女の待遇に差があること」の割合が 15.7%、「男女の固定的な役割分担意識があること」の割合が 14.4%となっています。上位 3 項目で全体の約 5 割を占めています。



■ 全体(n=572)

性別

男性、女性ともに「家事等を男女共同で担える社会の仕組みが不十分」の割合が最も高く、次いで「雇用、昇進、昇給等で男女の待遇に差があること」の割合、「男女の固定的な役割分担意識があること」の割合となっており、全体における順位と同じとなっています。



□ 男性(n=242) ■ 女性(n=321)

年代別

全体、性別と同様に、「家事等を男女共同で担える社会の仕組みが不十分」、「雇用、昇進、昇給等で男女の待遇に差があること」、「男女の固定的な役割分担意識があること」の割合が高くなっています。

全体で最も割合が高い「家事等を男女共同で担える社会の仕組みが不十分」は、20歳代が26.9%と最も高く、全体における割合と比べて6.3ポイント高くなっています。

また、20歳代では「マタニティハラスメント」の割合が9.7%で他の年代と比べて高くなっています。

	家事等を男女共同で担える社会の仕組みが不十分	雇用、昇進、昇給等で男女の待遇に差があること	男女の固定的な役割分担意識があること	セクシユアルハラスメント	ドメスティックバイオレンス	政策等決定する過程に女性が十分参画していない	相談や支援体制が十分でない	売春・買春や援助交際などがあること	マタニティハラスメント	地域の慣習やしきたりに女性の参加制限があること	男女平等を推進するための学習が不十分	広告等で女性の水着姿、裸体等をむやみに使用	特に問題があると思わない	わからない	その他	無回答
全体(n=572)	20.6% (1位) (2位) (3位)	15.7% (1位) (2位)	14.4% (1位) (2位)	7.7%	7.0%	6.2%	5.6%	4.2%	3.3%	3.3%	3.3%	2.0%	2.0%	2.4%	0.8%	1.1%
10歳代(n=9)	15.8% (2位) (1位) (2位)	31.6% (1位)	15.8% (2位)	10.5%	0.0%	0.0%	5.3%	10.5%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%
20歳代(n=41)	26.9% (1位)	9.7% (3位)	18.3% (2位)	8.6%	5.4%	4.3%	2.2%	5.4%	9.7% (3位)	1.1%	3.2%	0.0%	1.1%	3.2%	1.1%	0.0%
30歳代(n=60)	23.4% (1位)	13.8% (3位)	16.6% (2位)	9.7%	7.6%	5.5%	2.8%	1.4%	5.5%	3.4%	3.4%	1.4%	2.1%	1.4%	1.4%	0.7%
40歳代(n=105)	19.7% (1位)	16.5% (2位)	13.8% (3位)	7.9%	6.7%	5.5%	7.1%	3.5%	3.9%	4.7%	3.5%	2.8%	3.1%	0.4%	0.8%	0.0%
50歳代(n=120)	19.6% (1位)	17.1% (2位)	15.7% (3位)	9.6%	10.7%	3.9%	5.0%	2.8%	1.8%	3.6%	3.6%	2.1%	2.1%	1.8%	0.7%	0.0%
60歳代(n=113)	22.2% (1位)	14.2% (2位)	12.6% (3位)	6.5%	5.7%	8.0%	8.0%	5.0%	3.8%	3.1%	3.1%	1.5%	2.3%	1.9%	0.8%	1.1%
70歳代以上(n=123)	17.7% (1位)	17.0% (2位)	12.8% (3位)	5.3%	5.3%	9.1%	5.3%	6.4%	0.8%	3.0%	3.0%	3.0%	1.1%	6.0%	0.8%	3.4%
無回答(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0% (1位)

項目別
全項目と比べて+5ポイント

年代別

全年代と比べて+10ポイント
(●位) 割合が高い上位3位

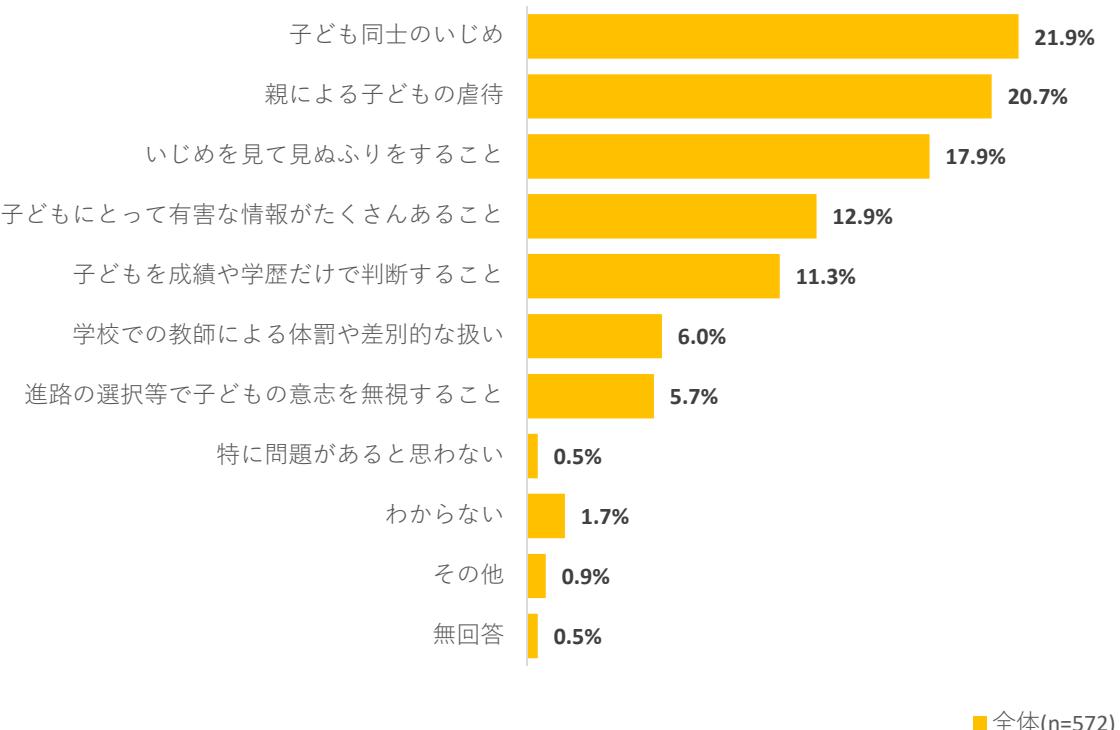
3 子どもの人権について

(1) 子どもの人権に対する問題意識

問7 子どもの人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。
《○は3つまで》

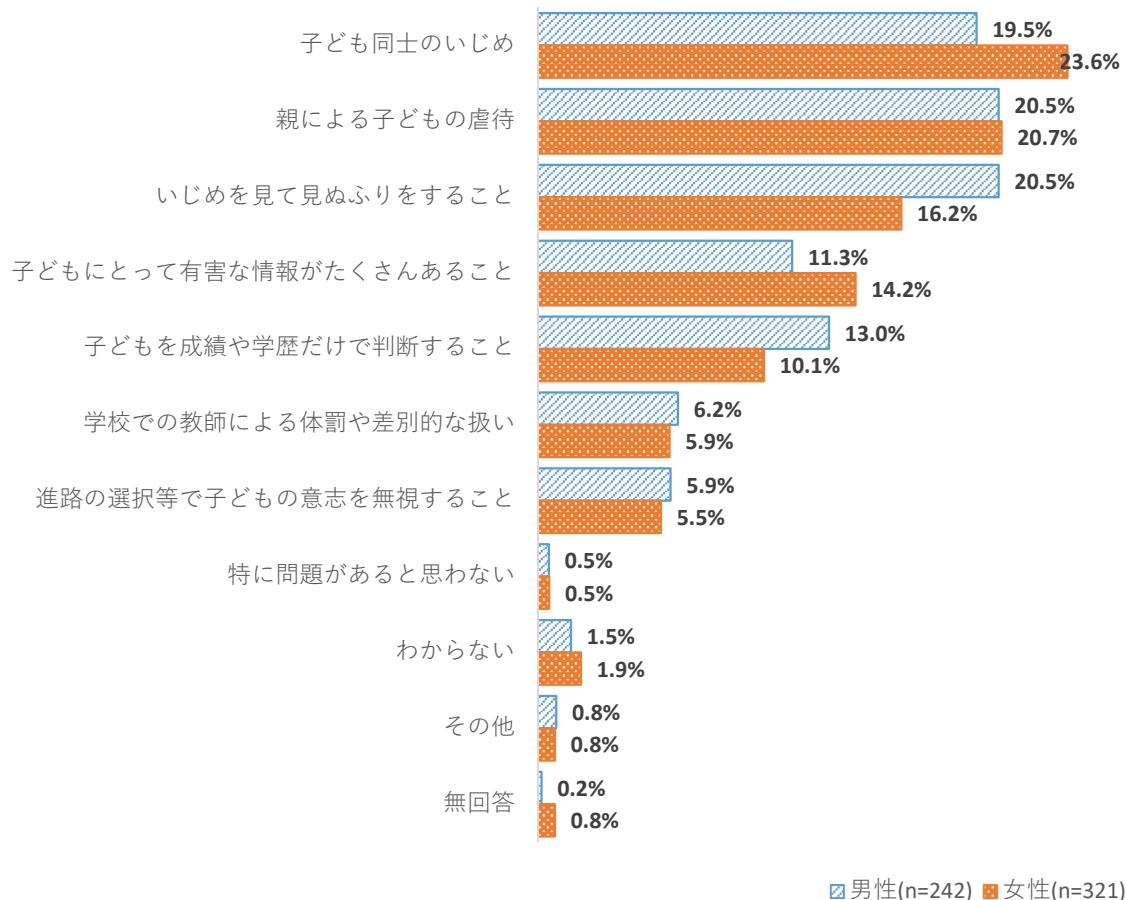
全 体

子どもの人権に対する問題について尋ねたところ、「子ども同士のいじめ」の割合が 21.9%で最も高く、次いで「親による子どもの虐待」の割合が 20.7%、「いじめを見て見ぬふりをすること」の割合が 17.9%となっています。上位 3 項目で全体の 5 割以上を占めています。



性別

男性、女性とともに「子ども同士のいじめ」の割合が最も高く、次いで「親による子どもの虐待」の割合、「いじめを見て見ぬふりをすること」の割合（男性は「親による子どもの虐待」と同一割合）となっており、全体における順位と同じとなっています。



年代別

全体、性別で最も割合が高い「子ども同士のいじめ」は、10歳代が28.6%で最も高く、70歳代以上が18.0%で最も低くなっています。

60歳代は「子どもにとって有害な情報がたくさんあること」の割合が19.9%で最も高く、他の年代よりも高くなっています。

	子どもによる子どもの虐待	いじめを見て見ぬふりをすることがたくさんあること	子どもにとつて有害な情報がたくさんあること	子どもを成績や学歴だけで判断すること	学校での教師による体罰や差別的な扱い	進路選択等で子どもの意志を無視すること	特に問題があると思わない	わからぬ	その他	無回答
全体(n=572)	21.9% (1位)	20.7% (2位)	17.9% (3位)	12.9%	11.3%	6.0% 5.7%	0.5%	1.7%	0.9%	0.5%
10歳代(n=9)	28.6% (1位)	14.3% (3位)	19.0% (2位)	0.0%	14.3% (3位)	4.8% 9.5%	4.8%	4.8%	0.0%	0.0%
20歳代(n=41)	19.6% (2位)	23.5% (1位)	17.6% (3位)	6.9%	11.8%	7.8% 10.8%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%
30歳代(n=60)	25.5% (1位)	21.7% (2位)	15.3% (3位)	7.6%	14.0%	7.0% 5.1%	1.3%	1.3%	1.3%	0.0%
40歳代(n=105)	23.9% (2位)	24.3% (1位)	17.5% (3位)	13.8%	7.5%	7.5% 4.9%	0.0%	0.4%	0.4%	0.0%
50歳代(n=120)	24.5% (1位)	23.5% (2位)	19.5% (3位)	9.3%	9.9%	5.6% 4.0%	0.0%	1.0%	2.6%	0.0%
60歳代(n=113)	19.2% (3位)	19.9% (1位)	16.7% 19.9% (1位)	12.3%	4.3%	5.1%	0.7%	0.7%	0.4%	0.7%
70歳代以上(n=123)	18.0% (2位)	14.1% (1位)	19.4% (3位)	15.2%	13.4%	5.7% 7.1%	0.4%	4.9%	0.0%	1.8%

項目別

全体と比べて+5ポイント
全体と比べて+10ポイント

年代別

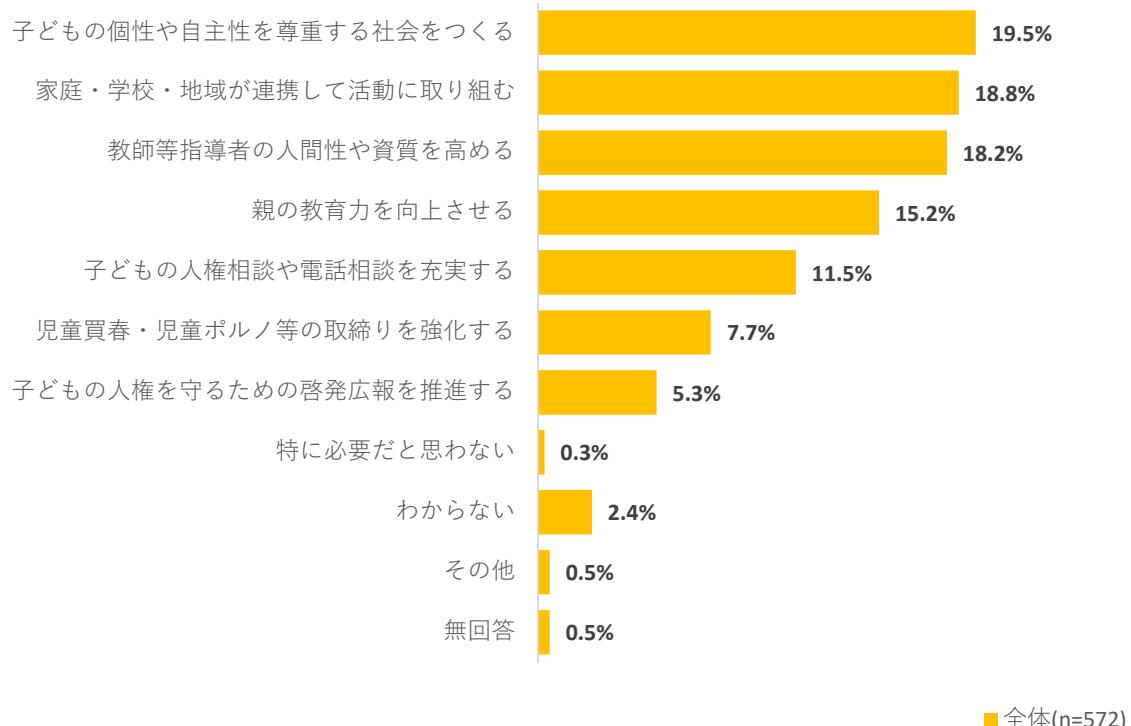
(●位) 割合が高い上位3位

(2) 子どもの人権を守るために必要なこと

問8 子どもの人権を守るために、必要なことはどのようなことだと思いますか。
《〇は3つまで》

全 体

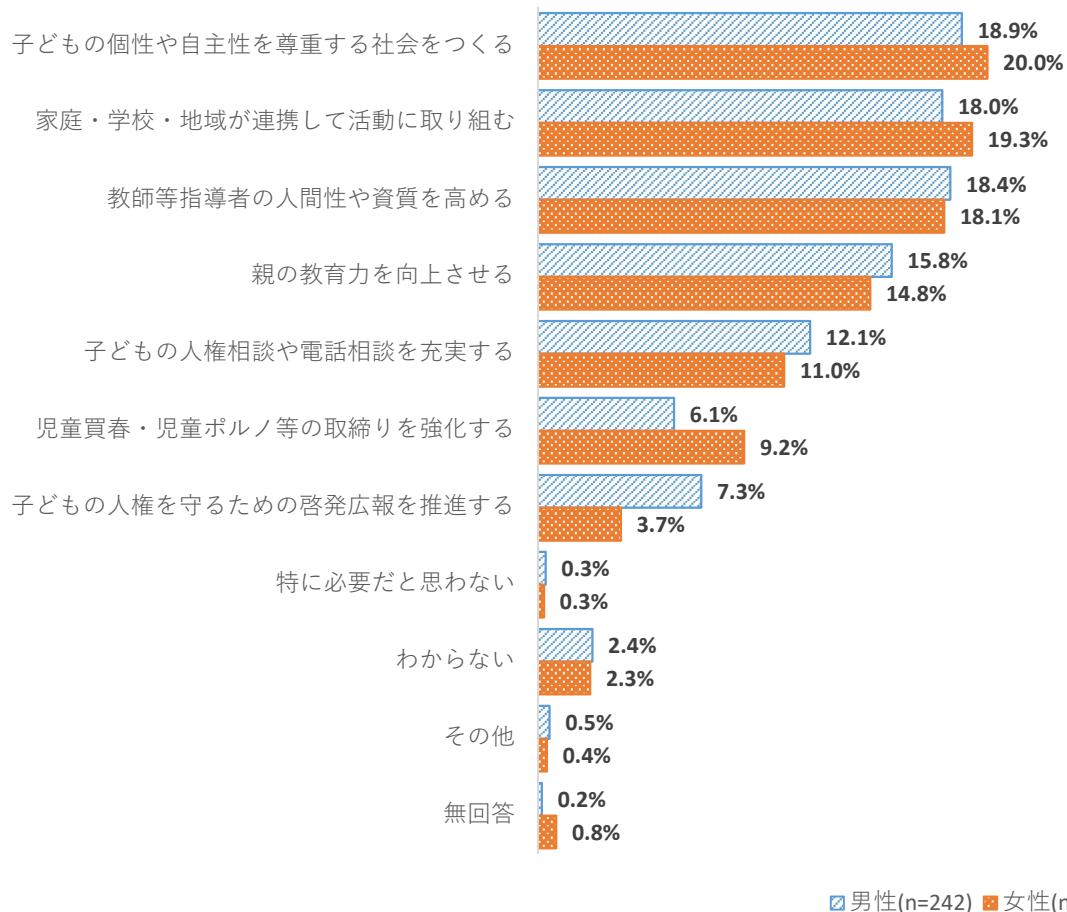
子どもの人権を守るために必要なことを尋ねたところ、「子どもの個性や自主性を尊重する社会をつくる」の割合が 19.5%で最も高く、次いで「家庭・学校・地域が連携して活動に取り組む」の割合が 18.8%、「教師等指導者の人間性や資質を高める」の割合が 18.2%となっています。上位 3 項目で全体の 5 割以上を占めています。



性別

男性、女性ともに「子どもの個性や自主性を尊重する社会をつくる」の割合が最も高くなっています。

男性では「教師等指導者の人間性や資質を高める」の割合が2番目、女性では「家庭・学校・地域が連携して活動に取り組む」の割合が2番目で違いはあるものの、全体における順位と同様となっています。



年代別

全体、性別で最も割合が高い「子どもの個性や自主性を尊重する社会をつくる」は、20歳代が25.0%で最も高く、60歳代が16.7%で最も低くなっています。

10歳代は「教師等指導者の人間性や資質を高める」の割合が29.4%で最も高く、他の年代よりも高くなっています。

	子どもの個性や自主性を尊重する社会をつくる	家庭・学校・地域が連携して活動に取り組む	教師等指導者的人間性や資質を高める	親の教育力を向上させる	子どもの人権相談や電話相談を充実する	児童買春・児童ポルノ等の取締りを強化する	子どもの人権を守るための啓発広報を推進する	特に必要だと思わない	わからない	その他	無回答
全体(n=572)	19.5% (1位)	18.8% (2位)	18.2% (3位)	15.2% (4位)	11.5% (5位)	7.7% (6位)	5.3% (7位)	0.3% (11位)	2.4% (8位)	0.5% (9位)	0.5% (9位)
10歳代(n=9)	17.6% (3位)	0.0% (8位)	29.4% (1位)	23.5% (2位)	5.9% (5位)	0.0% (8位)	5.9% (5位)	11.8% (4位)	5.9% (5位)	0.0% (8位)	0.0% (8位)
20歳代(n=41)	25.0% (1位)	14.1% (3位)	17.4% (2位)	14.1% (3位)	10.9% (5位)	6.5% (6位)	6.5% (6位)	1.1% (9位)	4.3% (8位)	0.0% (10位)	0.0% (10位)
30歳代(n=60)	20.8% (1位)	18.8% (2位)	16.1% (3位)	16.1% (3位)	10.7% (5位)	8.7% (6位)	5.4% (7位)	0.0% (10位)	2.0% (8位)	1.3% (9位)	0.0% (10位)
40歳代(n=105)	20.9% (1位)	18.0% (3位)	19.7% (2位)	18.0% (3位)	9.8% (5位)	8.2% (6位)	3.7% (7位)	0.0% (10位)	0.8% (8位)	0.8% (8位)	0.0% (10位)
50歳代(n=120)	19.3% (2位)	21.1% (1位)	18.2% (3位)	16.0% (4位)	12.4% (5位)	5.1% (7位)	5.5% (6位)	0.0% (10位)	1.8% (8位)	0.7% (9位)	0.0% (10位)
60歳代(n=113)	16.7% (3位)	20.5% (2位)	21.2% (1位)	14.0% (4位)	11.0% (5位)	8.0% (6位)	5.3% (7位)	0.0% (11位)	2.3% (8位)	0.4% (10位)	0.8% (9位)
70歳代以上(n=123)	18.9% (1位)	18.2% (2位)	15.0% (3位)	12.5% (5位)	13.2% (4位)	10.0% (6位)	6.1% (7位)	0.4% (10位)	3.9% (8位)	0.0% (11位)	1.8% (9位)

項目別

全体と比べて+5ポイント

年代別

全体と比べて+10ポイント

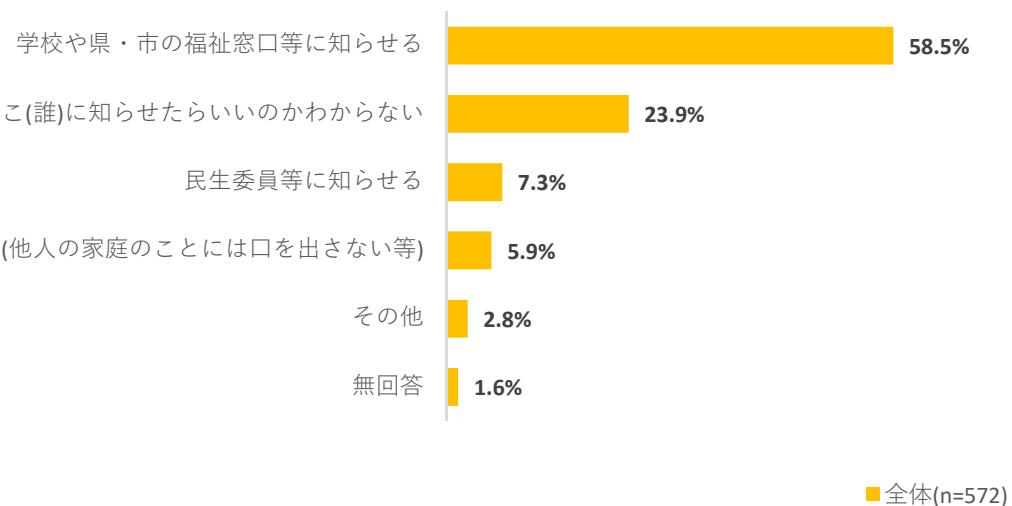
(●位) 割合が高い上位3位

(3) 児童虐待発見時の対応

問9 あなたが児童虐待を発見したらどうされますか。《いずれか1つに○》

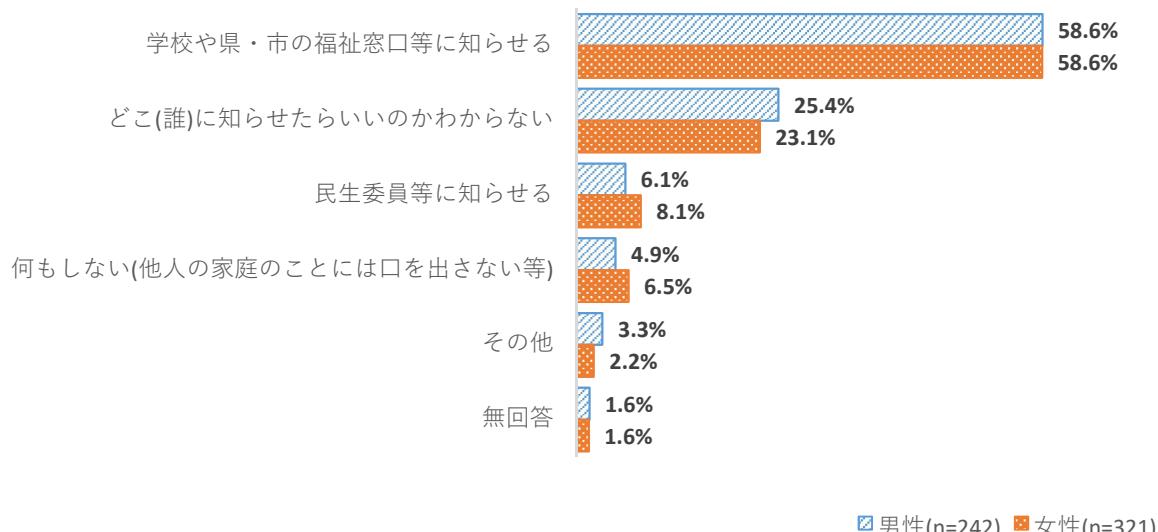
全 体

児童虐待発見時の対応を尋ねたところ、「学校や県・市の福祉窓口等に知らせる」の割合が 58.5%で最も高く、次いで「どこ(誰)に知らせたらいいのかわからない」の割合が 23.9%となっています。



性 別

男性、女性ともに各項目の割合は全体と同様となっています。



年代別

30歳代以上は、全体や性別と同様に、「学校や県・市の福祉窓口等に知らせる」の割合が最も高く、次いで「どこ(誰)に知らせたらいいのかわからない」の割合、「民生委員等に知らせる」の割合が高くなっています。

10歳代は「何もしない(他人の家庭のことには口を出さない等)」の割合が44.4%で最も高くなっています。

また、20歳代では「どこ(誰)に知らせたらいいのかわからない」の割合が34.1%で、他の年代と比べて高くなっています。

	知 る 校 セ や る 県 ・ 市 の 福 祉 窓 口 等 に	い ど い こ の へ か 誰 か に ら 知 な ら い せ た ら	民 生 委 員 等 に ら 知 ら せ た る	こ と に を し 出 さ せ な れ い 家 庭 の	何 も な い 口 い 他 人 の 家 庭 の	無 回 答	そ の 他
全体(n=572)		58.5% (1位)	23.9% (2位)	7.3% (3位)	5.9%	1.6%	2.8%
10歳代(n=9)		22.2% (2位)	22.2% (2位)	11.1% (1位)	44.4%	0.0%	0.0%
20歳代(n=41)		53.7% (1位)	34.1% (2位)	0.0% (3位)	9.8%	0.0%	2.4%
30歳代(n=60)		68.9% (1位)	23.0% (2位)	3.3% (3位)	3.3% (3位)	0.0%	1.6%
40歳代(n=105)		61.9% (1位)	27.6% (2位)	3.8% (3位)	3.8% (3位)	1.0%	1.9%
50歳代(n=120)		61.2% (1位)	24.8% (2位)	5.0% (3位)	4.1%	0.0%	5.0% (3位)
60歳代(n=113)		60.2% (1位)	20.4% (2位)	8.8% (3位)	8.0%	0.9%	1.8%
70歳代以上(n=123)		51.2% (1位)	20.3% (2位)	14.6% (3位)	4.9%	5.7%	3.3%

項目
別



全体と比べて+5ポイント

別

全体と比べて+10ポイント

年代別

(●位) 割合が高い上位3位

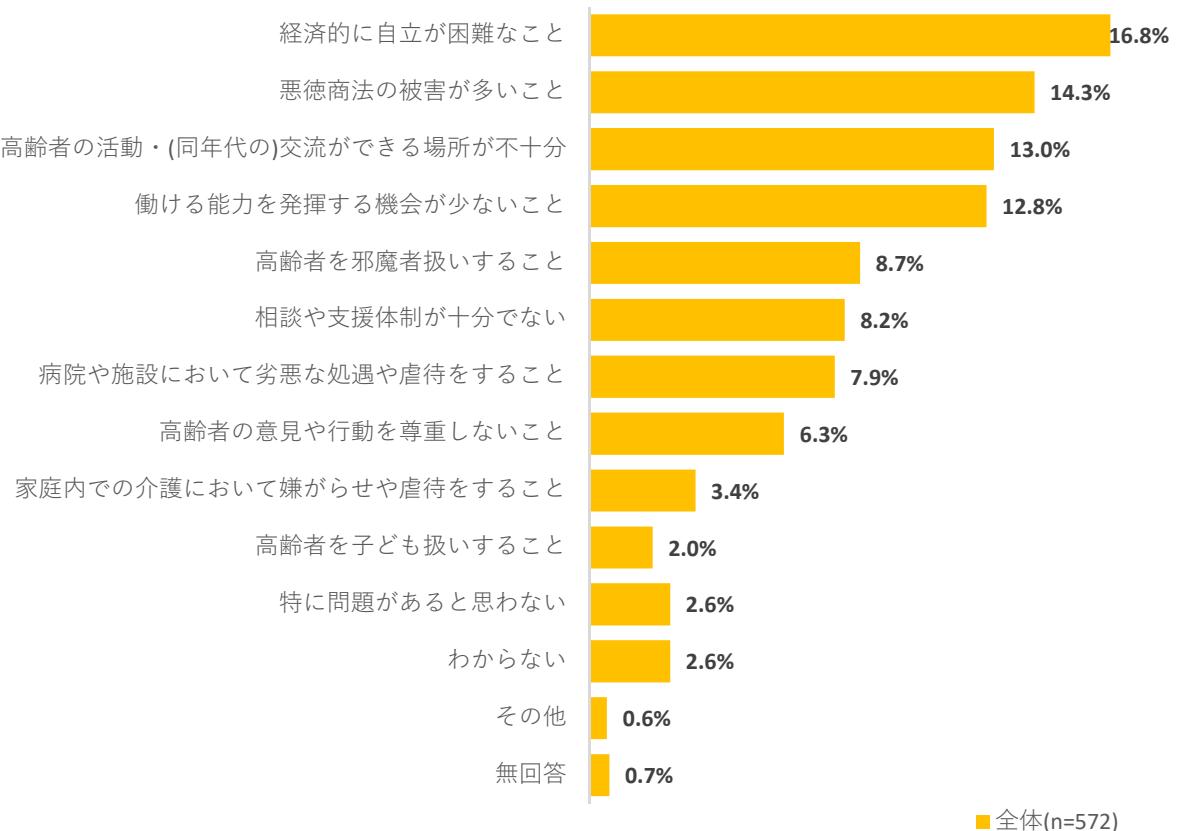
4 高齢者の人権について

(1) 高齢者の人権に対する問題意識

問 10 高齢者の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。
※〇は3つまで

全 体

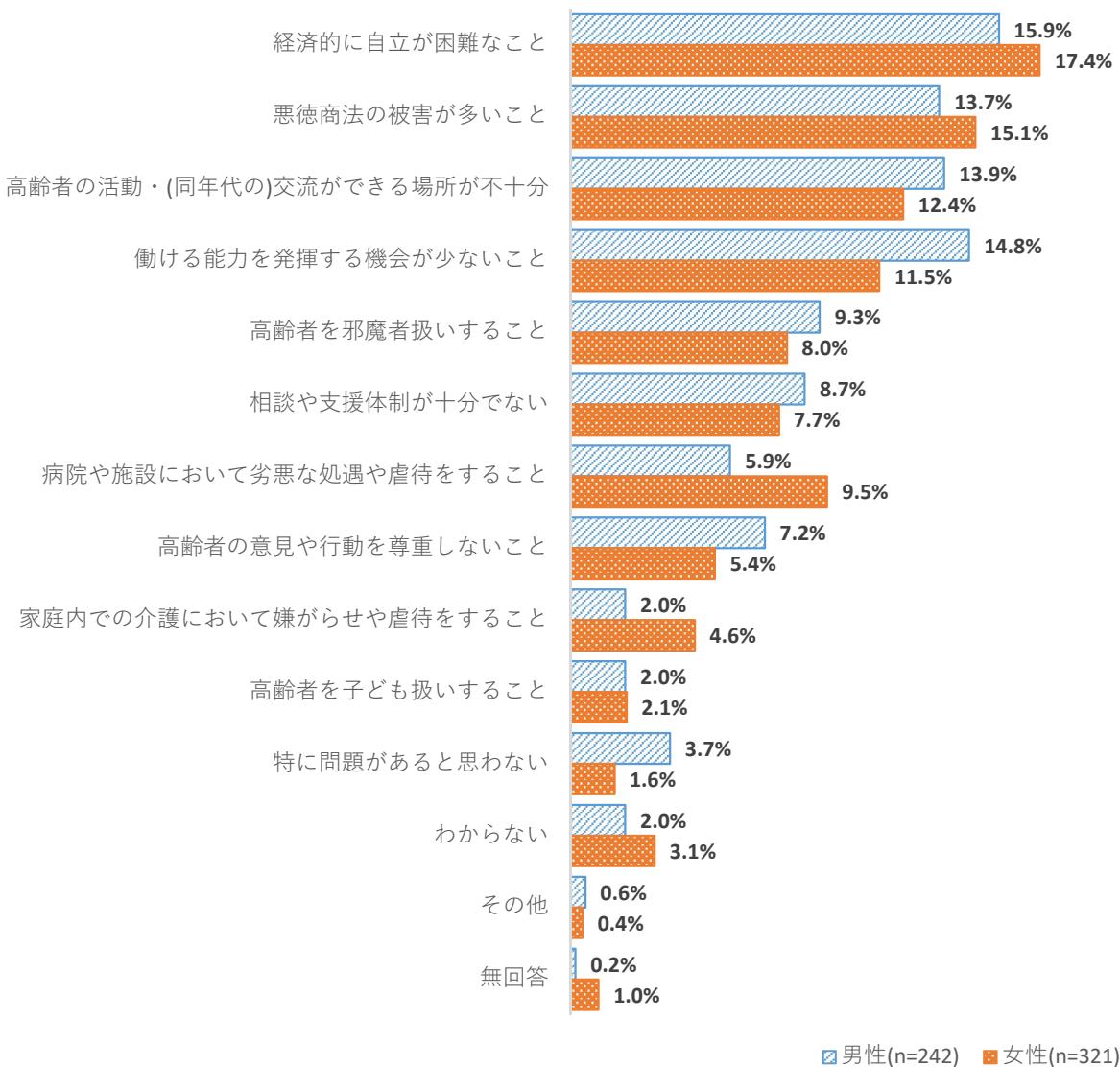
高齢者の人権に対する問題について尋ねたところ、「経済的に自立が困難なこと」の割合が 16.8%で最も高く、次いで「悪徳商法の被害が多いこと」の割合が 14.3%、「高齢者の活動・(同年代の)交流ができる場所が不十分」の割合が 13.0%となっています。



■ 全体(n=572)

性別

男性、女性ともに「経済的に自立が困難なこと」の割合が最も高くなっています。「働く能力を発揮する機会が少ないこと」の割合は、男性が 14.8%で 2 番目に高くなっています。女性は、上位 3 位の項目は全体における上位 3 位と同じとなっています。



□ 男性(n=242) ■ 女性(n=321)

年代別

60歳代及び70歳代を除き、「働く能力を発揮する機会が少ないこと」の割合が上位3位以内となっています。

また、10歳代及び20歳代では、「特に問題があるとは思いわない」の割合が、他の年代より高くなっています。

一歩、60歳代は「経済的に自立が困難なこと」の割合が17.2%で最も高く、70歳代以上は「高齢者の活動・(同年代の)交流ができる場所が不十分」の割合が17.1%で最も高くなっています。

	経済的に自立が困難なこと	悪徳商法の被害が多いこと	高齢者の活動・(同年代の)交流ができる場所が不十分	働く能力を発揮する機会が少ないこと	高齢者を邪魔者扱いすること	相談や支援体制が十分でない	病院や施設において劣悪な待遇や虐待をする	高齢者の意見や行動を尊重しないこと	家庭内の介護において嫌がらせや虐待をする	高齢者を子ども扱いすること	特に問題があると思わない	わからぬ	その他	無回答
全体(n=572)	16.8%	14.3%	13.0%	12.8%	8.7%	8.2%	7.9%	6.3%	3.4%	2.0%	2.6%	2.6%	0.6%	0.7%
(1位) (2位) (3位)														
10歳代(n=9)	6.3%	12.5%	12.5%	12.5%	6.3%	6.3%	12.5%	6.3%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%
(1位) (1位) (1位)							(1位)	(7位)			(1位)	(1位)		
20歳代(n=41)	12.5%	10.0%	6.3%	11.3%	8.8%	11.3%	11.3%	8.8%	2.5%	3.8%	11.3%	2.5%	0.0%	0.0%
(1位)				(2位)		(2位)	(2位)				(2位)			
30歳代(n=60)	17.3%	18.8%	9.0%	10.5%	6.8%	9.0%	9.8%	6.8%	3.8%	1.5%	2.3%	3.8%	0.8%	0.0%
(2位) (1位)				(3位)										
40歳代(n=105)	17.2%	14.7%	11.8%	14.3%	8.4%	8.0%	8.8%	5.9%	3.4%	1.7%	2.9%	2.1%	0.4%	0.4%
(1位) (2位)				(3位)										
50歳代(n=120)	19.8%	11.8%	13.0%	14.9%	8.8%	7.3%	7.3%	3.8%	5.7%	2.3%	1.9%	2.7%	0.8%	0.0%
(1位) (3位) (2位)														
60歳代(n=113)	17.2%	14.2%	14.6%	10.9%	10.0%	9.6%	10.5%	5.0%	2.5%	2.1%	0.4%	1.3%	1.3%	0.4%
(1位) (3位) (2位)														
70歳代以上(n=123)	14.7%	15.9%	17.1%	12.8%	8.9%	7.0%	3.1%	9.3%	2.3%	1.9%	1.6%	3.1%	0.0%	2.3%
(3位) (2位) (1位)														

項目別

全体と比べて+5ポイント
全体と比べて+10ポイント

年代別

(●位) 割合が高い上位3位